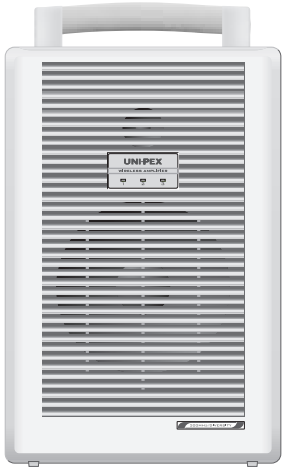
UNI-PEX

取扱説明書(保証書付)



シングル 300MHz帯 PLLワイヤレスチューナー付

ワイヤレスアンプ

WA-361A

このたびは、ワイヤレスアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

目次

安全上のご注意……1〜4
特長……4
各部の名称と説明……5〜6
保護カバーについて/収納部ふたについて……7
使用電源について……8〜9
ワイヤレスチューナー部の説明……10〜13
別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法……14
操作のしかた……15〜16
ハウリングとデッドポイントについて……16
接続例……17
点検方法……18
定格……19
外観寸法図……20
連絡先のご案内……20
保証書……20

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上正しくお使いください。
●お読みになったあとは必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる
煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。
ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない／濡らさない
水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)

定期点検を実施する
専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。
異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。

専用ニカド蓄電池(WBT-2000)以外の蓄電池は使わない
万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない
こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器を水滴のかかる場所に置かない
中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない
火災の原因となります。

電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。

乾電池は、充電しない
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

乾電池のかわりに充電式電池は使わない
万一、内部が破損していた場合、発火の原因になります。

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない
落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない
場所や距離や周囲の雑音条件によっては電波が到達しなかったり、瞬間的に電波が遮られたりして放送が途切れたりして、作業の指示などが完全には伝達できない場合があり、事故の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

水・湿気・湯気・ほこり・油成分(油煙/油粒)などの多い場所で使用しない
火災・感電・故障・破損の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

重量に耐える場所に設置をする
落下や転倒などでけがや破損の原因となります。

電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に放置しない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

電池は極性を正しく挿入する
電池を機器内に挿入する場合、極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池は使用しない
新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は、金属性の物と一緒に携帯、保管しない
電池は、金属性のボールペン、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

長期間使用しない、交流100Vで使用のときは電池を取り出しておく
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない、また、タバコなどの火を近づけない
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動するときは、コード類を傷つけない
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

保護カバーを開けたまま使用しない
操作時以外は保護カバーを開けたまま使用しないでください。転倒などでけがや破損の原因となります。

この機器に乗ったり腰掛けたりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。 内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

●本機の上面、側面、及び後面に10cm以上の空間を確保して使用してください。
●本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機,医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

電源について

●電源スイッチを「切」にしただけでは、電源は遮断されません。
電源を遮断するときは、つぎのようにご対応ください。
①電源プラグをコンセントから抜いてください。
(機器は、容易に遮断の操作ができるようコンセントの近くに設置してください)
②乾電池を取り外してください。
③ニカド蓄電池のコネクターを本体の接続コネクターから抜いてください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特　長

□高音質、高出力
・大口径ウーハーと高音域ツィーターを搭載した2ウェイスピーカーシステムは明快な音質で音声、音楽をフレッシュサウンドで奏でます。

□マイク4本(最大※)同時使用可能
・3チャンネルのワイヤレスマイクと有線マイク1本が同時使用でき、予備入力端子とのミキシングも可能です。(※別売のワイヤレスチューナーユニット2台を増設の場合)

□シンセサイザー方式チューナー採用
・チューナーは周波数安定度の高いシンセサイザー方式を採用し、13チャンネルの中から任意のチャンネルを選択でき混信のトラブルがなくご使用になれます。

□3電源方式のポータブルタイプ
・電源はAC100Vと乾電池(単一形)8本、ニカド蓄電池を使用できます。乾電池は交換が簡単にできるカートリッジ式を採用しています。

□保護カバーで様々なトラブルを防止
・操作部と各種プレーヤー部はクリアタイプの保護カバーでしっかりガード。トラブルを気にせず使用できる安心設計です。

各部の名称と説明（後面）

10頁の「ワイヤレスチューナー部の説明」をご覧ください。

ハンドル
本機を移動させるときはハンドルを起こして持ち運んでください。移動時以外は、ハンドルをねかせておいてください。

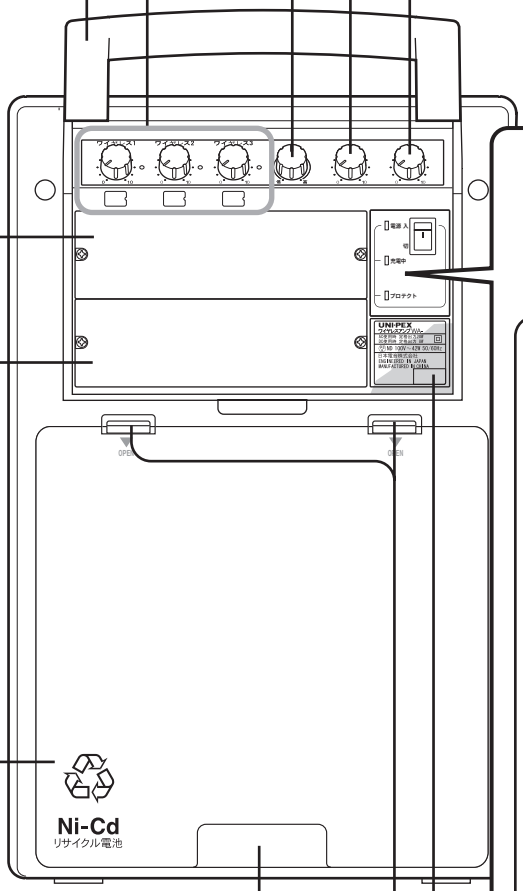
音質調節つまみ
右まわりで高音が強調され、左まわりで減衰されます。中心のクリック位置が標準です。
すべての入力に共通して音質調節がおこわれます。

予備音量調節つまみ
収納部内のモノラル予備入力ピンジャックに接続された機器の音量が調節できます。

マイク音量調節つまみ
収納部内のマイク入力ジャックに接続されたマイクロホンの音量が調節できます。

ブランクパネル
（ユニット取付部）
別売のCDプレーヤーユニットを組み込みます。組込まれるユニットの取扱説明書をご覧ください。

ブランクパネル
（ユニット取付部）
別売のSDレコーダーユニットを組み込みます。組込まれるユニットの取扱説明書をご覧ください。



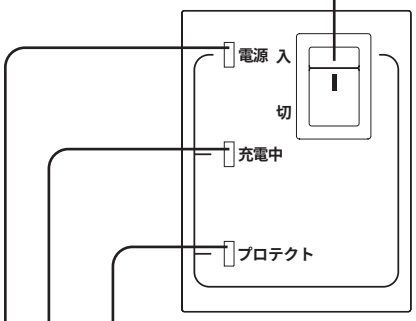
収納部ふた
7頁の収納部ふたについての説明をご覧ください。

コード通し穴
AC電源コード、各種接続コード接続時はこの通し穴から引き出してください。

ふたストッパー
矢印（▽）の方向に押さえますと、収納ふたが開きます。

保護カバー
操作時は保護カバー下部を固定する位置まで持ち上げてください。保護カバー内部に埃や水滴の浸入を防ぐため、操作中以外は保護カバーを確実に閉めてご使用ください。7頁の「保護カバーについて」の説明をご覧ください。

電源スイッチ
ワイヤレスアンプの電源を「入」「切」するときに押します。



プロテクト表示灯
本機の増幅部の温度が上昇したとき、外部スピーカー出力が短絡したとき、電池が異常に消耗し動作限界に近づいたときに点灯します。また点灯時は本機の動作が停止します。18頁の「点検方法」法」をご覧ください。

充電表示灯
別売ニカド蓄電池（WBT-2000）の充電中には緑色に点灯します。9頁の「別売ニカド蓄電池でご使用の場合」の説明をご覧ください。

電源表示灯
本機の電源が入ると緑色に点灯します。また電池でご使用のときは、電池が消耗すると赤色に点灯しますので、新しい電池と交換してください。電源を入れたとき一瞬赤色に点灯しますが異常ではありません。

各部の名称と説明（収納部）

乾電池収納部
本機を乾電池で使用する場合は、乾電池の入った乾電池ケースを入れてください。
(9頁の「乾電池でご使用の場合」をご覧ください。)

電池ケース
本機を乾電池で使用する場合は、このケースに単一乾電池(R20P/LR20)8本を極性表示に従って入れてください。
(9頁の「乾電池でご使用の場合」をご覧ください。)

蓄電池収納部
10頁の「別売ニカド蓄電池でご使用の場合」をご覧ください。

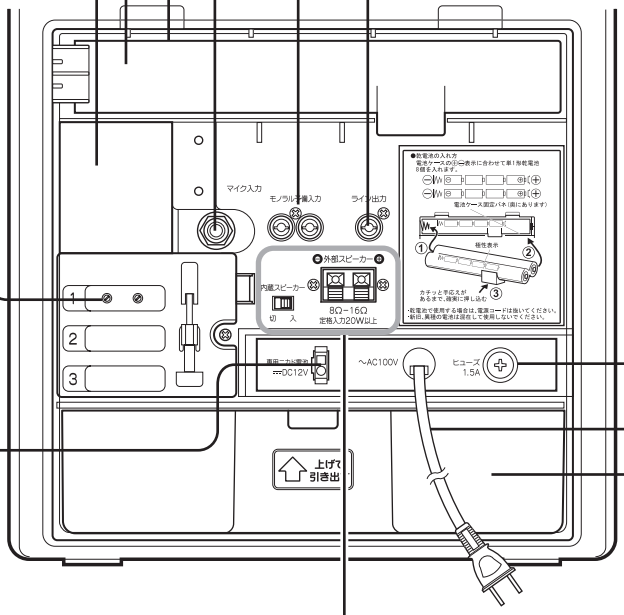
ワイヤレスチューナー部
出荷時は、グループ／チャンネル番号「C11」に設定されています。グループ／チャンネル番号の変更をされる場合は12頁のチューナー部の「周波数設定のしかた」の項をご覧ください。また別売のワイヤレスチューナーユニットを増設される場合は15頁の「別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法」をご覧ください。

蓄電池接続コネクター
別売ニカド蓄電池MBT-2000を接続してください。(10頁の「別売ニカド蓄電池でご使用の場合」をご覧ください。)

マイク入力ジャック
(−56dBV 600Ω不平衡)
有線マイクのプラグを接続してください。

モノラル予備入力ピンジャック
(−22dBV 10kΩ不平衡)
CDプレーヤーなどを接続してください。ステレオ機器の場合は両方のジャックに接続、モノラル機器の場合はいずれかのジャックに接続してください。

ライン出力ジャック
(0dBV 1kΩ 不平衡)
カセットデッキなどを接続してください。



ヒューズホルダー
ヒューズを取り換える場合は、必ず規定のヒューズと交換してください。

⚠警告 決められたヒューズを使う。
規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

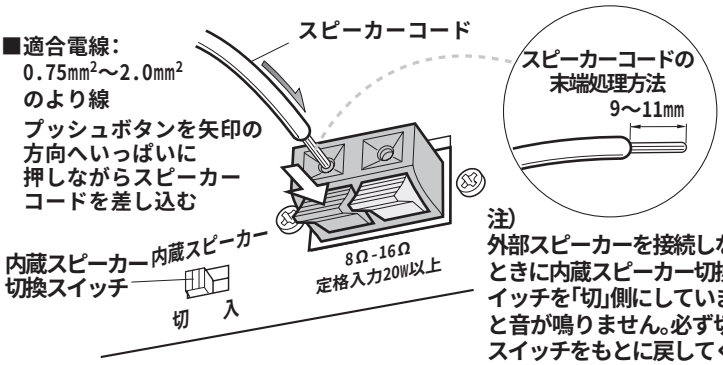
AC電源コード
AC100Vコンセントに接続してください。収納部ふたの穴からコードを引き出してください。
(「〜AC100V」の表示は、電源の種類と電圧を表わす表示です。)

外部スピーカー接続端子
外部スピーカーを接続してください。スピーカー接続コードを下図の要領で接続してください。

内蔵スピーカー切換スイッチ
内蔵スピーカーを鳴らすときは「入」側でご使用ください。外部スピーカー接続時など内蔵スピーカーを鳴らさないときは「切」側にスイッチを切り換えてください。

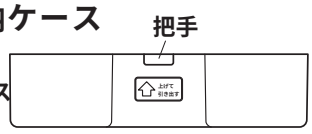
■ご注意
◎外部スピーカーは定格入力が20W以上で、インピーダンスが8〜16Ωのものを使用してください。
◎スピーカーコードは0.75mm²のより線使用時で10m以内、2.0mm²のより線使用時で20m以内の長さを目安に使用してください。

■適合電線:
0.75mm²〜2.0mm²
のより線
プッシュボタンを矢印の方向へいっぱいに押しながらスピーカーコードを差し込む



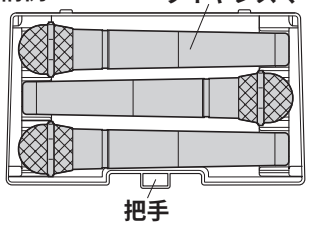
注)
外部スピーカーを接続しないときに内蔵スピーカー切換スイッチを「切」側にしていますと音が鳴りません。必ず切換スイッチをもとに戻してください。

マイク収納ケース



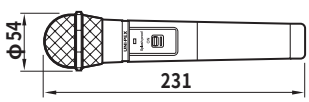
把手を持ち上げて引き出し、マイクロホンなどを収納してください。下図のように弊社製ワイヤレスマイク(WM-3400、またはWM-3000A)本体のみ3本を収納することができます。

■マイク収納例



マイク収納ケースの深さを超えて収納しない。また、ワイヤレスマイク収納時は、付属のソフトケースに入れない。マイク収納ケースが引き出せなくなり破損の原因となります。

■参考
WM-3400
寸法図



保護カバーについて

●保護カバーは保護カバー内部に水滴や埃の浸入や使用中の誤操作などを防ぐことができます。使用中（操作中を除く）または保管時は必ず保護カバーを閉めてください。
●保護カバーを開けるときはゆっくりと最上部の止まる位置まで開いてください。（図1参照）
●保護カバーは万一の事故や破損防止のため強い力がかかったときに外れる構造になっています。もし保護カバーがはずれたときは2ヶ所の取付部を差し込み元どおりに取り付けてください。（図2参照）

図 1
■保護カバーの開け方

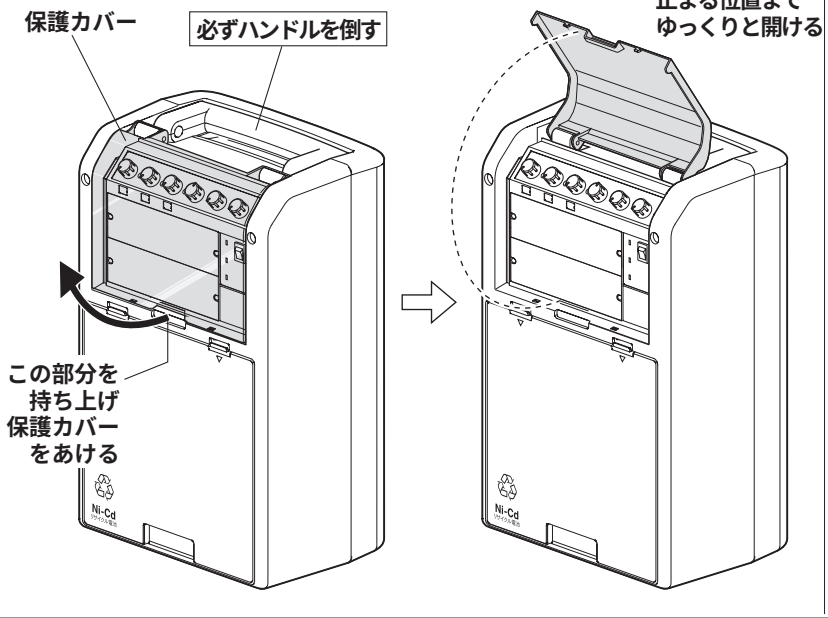
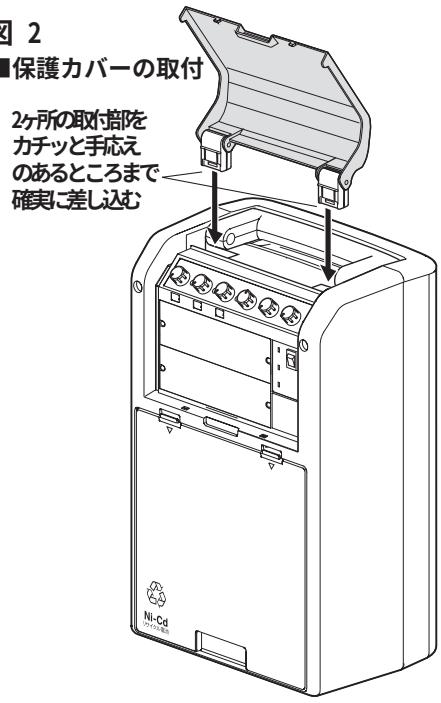


図 2
■保護カバーの取付



収納部ふたについて

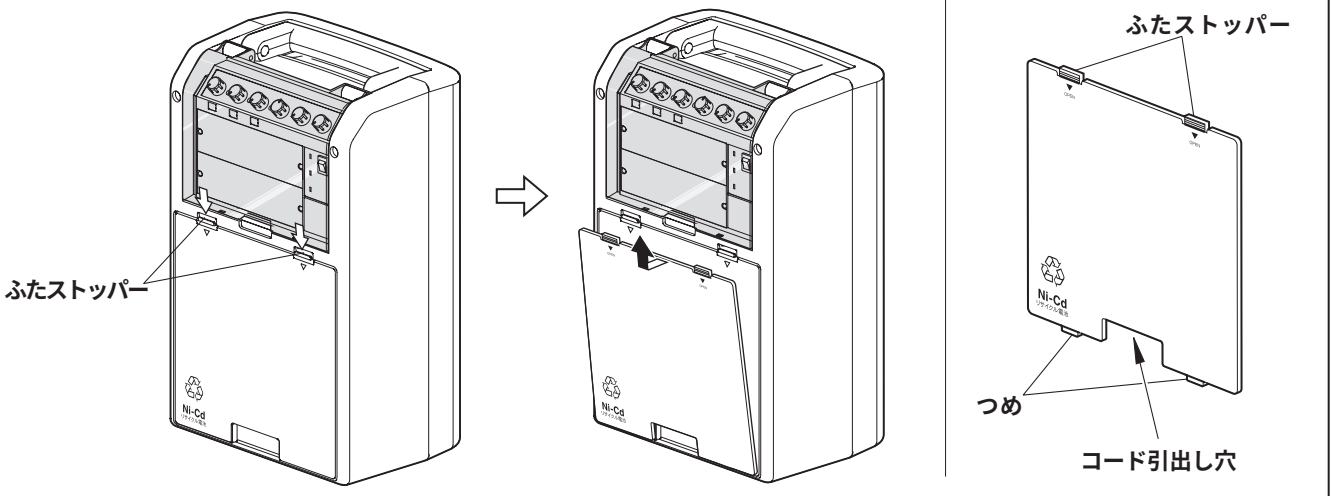
●本機は接続や取付、設定などをおこなうときに次の要領で収納部ふたを取り外してください。
●作業が済みましたら、必ず収納部ふたを確実に閉めてください。（図3参照）

図 3

①ふたストッパーを下向きに押さえ、
手前に引きますとふたが開きます。

②ふたストッパーを持ち上げ
保護カバーをはずす

③収納部下部の穴にふたの
つめを差し込みふたを閉める



使用電源について

●本機はAC100V、単一乾電池(R20P/LR20)、ニカド蓄電池(WBT-2000)の3種類の電源が使用できます。
次の使用される電源の説明に従ってご使用ください。
●7頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

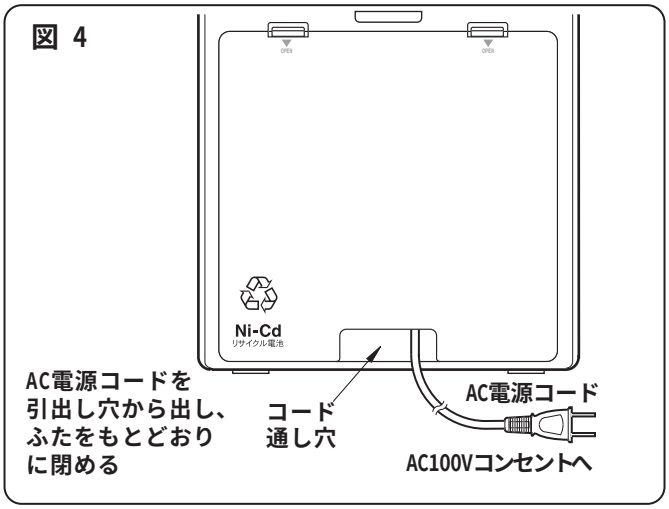
収納部ふたをはずす

●7頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

AC電源でご使用の場合

1.AC電源コードを取り出しACコンセントに差し込んでください。
2.AC電源コードを下部のコード引出し穴から出して、もとどおりにふたを閉めてください。7頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。(図4参照)

図 4



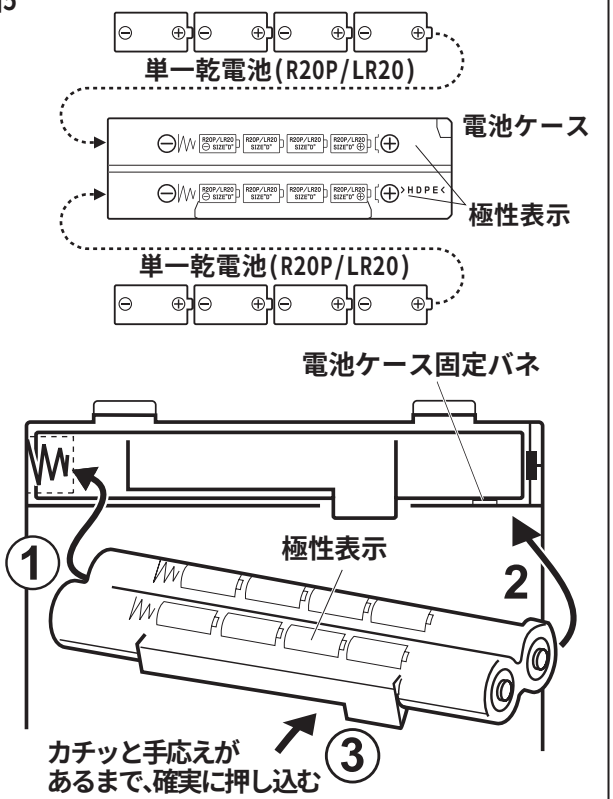
乾電池でご使用の場合

(単一乾電池R20P/LR20を8本ご準備ください)

⚠警告 作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

1.電池ケースの極性表示に従って、電池ケースに単一乾電池(R20P/LR20)8本を入れてください。(図5参照)
2.電池ケースを乾電池収納部に左端部から挿入してください。(図5参照)
3.もとどおりに収納部ふたを閉めてください。7頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。
●乾電池を内蔵している場合でも、ACコンセントに電源プラグを差込みますとAC100Vで動作します。
またAC100Vコンセントに差込まない場合は、自動的に内蔵乾電池(DC電源)で動作します。
●電源スイッチを切ったときは、電源表示灯が赤色に点灯しながら消えますが、異常ではありません。
●できるだけアルカリ乾電池をご使用ください。

図5



ご注意..

●本機に乾電池が入っているときは乾電池の飛び出しなどを防ぐために、必ずふたを閉めてください。
●乾電池を交換するときは、必ず全部新品に交換してください。乾電池は必ず同じ種類のものをご使用ください。また乾電池の極性は＋－を間違えないようご注意ください。
●長時間使用しない場合は乾電池を取り出しておいてください。乾電池をそのまま入れておきますと、乾電池の液もれで本機が使用不能になる恐れがあります。

乾電池の廃棄について

●マンガン乾電池、アルカリ乾電池は一般の不燃ごみとして捨ててもよいことになっています。自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。

⚠警告 作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

別売ニカド蓄電池(WBT-2000)でご使用の場合

(別売ニカド蓄電池WBT-2000をご準備ください)

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。
ご使用済のニカド蓄電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。
Ni-Cd

蓄電池の取付のしかた

1. ニカド蓄電池を収納部の左上部の蓄電池収納部に蓄電池取付金具と取付ねじを使用し固定してください。(図6参照)
2. ニカド蓄電池のコネクターを本機の蓄電池接続コネクターに接続してください。コネクターは方向を合わせ、抜け止めのつめが完全にロックするまで差し込んでください。接続コードはチューナーカバー側面にある蓄電池コード留部に引っかけてください。(図6、7参照)

◎お求めいただいたニカド蓄電池(WBT-2000)は初期状態では充電されていません。下記の説明に従って充電をしてください。

図 6

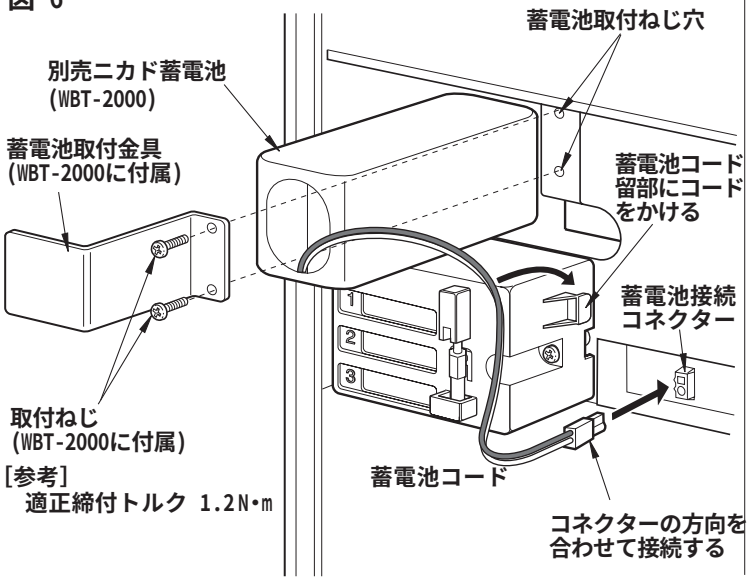
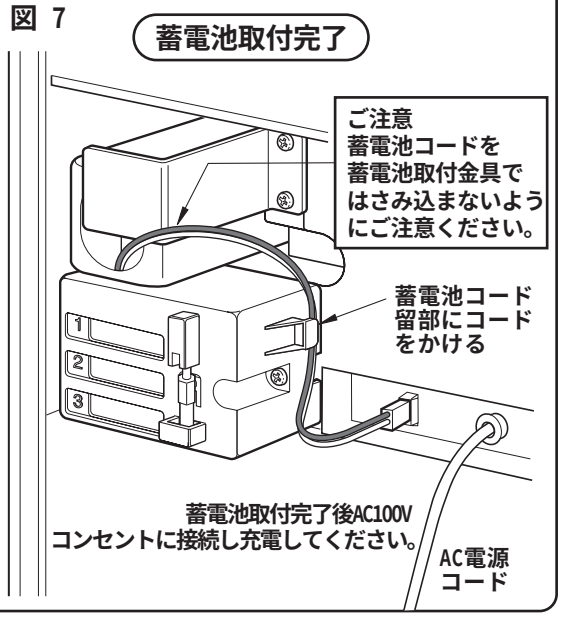


図 7



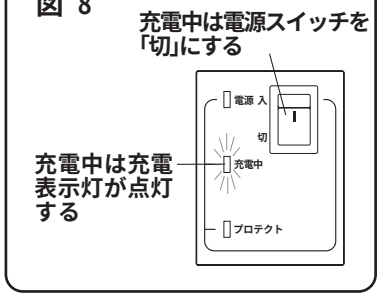
ニカド蓄電池の充電のしかた

1. 本機のAC電源プラグをACコンセントに差し込んでください。充電が開始され充電表示灯が緑色に点灯します。(図8参照)

ご注意... 充電中は電源スイッチを入れないでください。電源スイッチを入れますと、本機は動作状態になり充電ができません。

2. 約10時間(常温時)で充電が完了します。充電が完了しても充電表示灯は点灯状態のままです。AC電源プラグをACコンセントから抜き取ってください。

図 8



電池寿命の目安

品番 ＼ 電池種類	アルカリ乾電池	ニカド蓄電池
WA-361A	約 30 時間	約 6.5 時間

●上記の電池寿命は当社の試験条件(拡声6Wトーンバースト波、ワイヤレスチューナー1ch使用時)で連続使用した場合の値です。大音量でCD再生など、ご使用の条件によっては著しく短くなることがありますのでご注意ください。また、電源表示ランプが緑色に点灯していても出力により音が途切れることがあります。このとき乾電池使用の場合は早めの交換を、ニカド蓄電池使用の場合は直ちに充電されることをお願いします。

ワイヤレスチューナー部の説明

(各部の名称と説明)

ワイヤレスチューナー部

本機の収納部内にワイヤレスチューナー1台が内蔵されています。また別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350を2台まで増設することができます。増設される場合は15頁の「別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法」をご覧ください。

チャンネル設定スイッチ

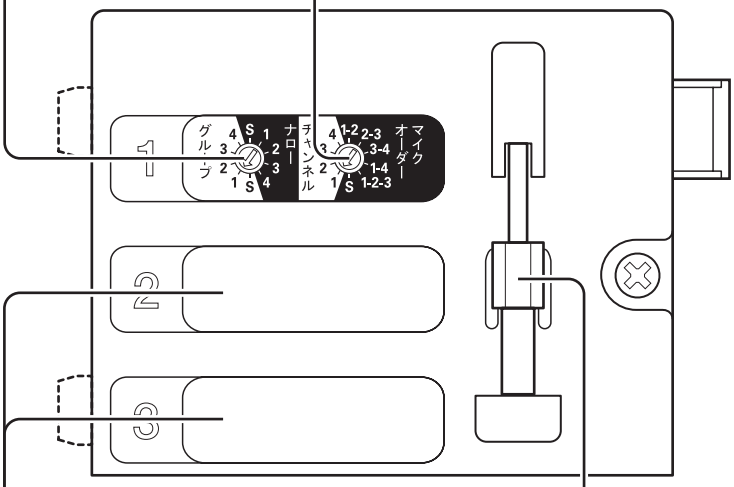
使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。

グループ設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。

出荷時は「C11」に設定

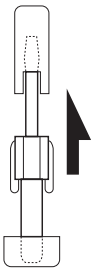
出荷時は、グループ／チャンネル番号「C11」に設定されています。グループ／チャンネル番号の変更をされる場合は12頁の「周波数設定のしかた」をご覧ください。



ワイヤレスチューナーユニット取付部(2/3)

別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350を増設される場合は15頁の「別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法」をご覧ください。

ワイヤレスチューナー設定用ドライバー



12頁の「周波数設定のしかた」をご覧ください。

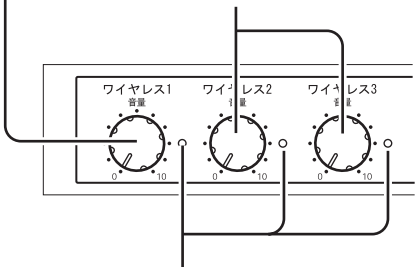
ドライバーを引き上げて取りはずす

ワイヤレスマイク1音量調節つまみ

ワイヤレスマイクの音量を調節してください。

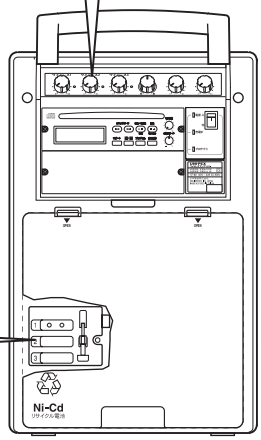
ワイヤレスマイク2/3音量調節つまみ

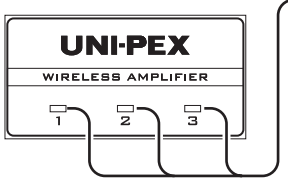
別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350増設時はワイヤレスマイクの音量を調節してください。



アンテナ受信表示灯

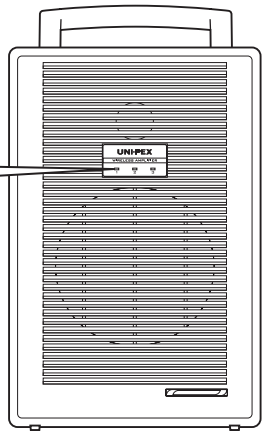
本機の電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時は緑色に点灯します。赤色で早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(13頁の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。(ワイヤレス2、3は別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350増設時に上記と同様に点灯します。)





アンテナ受信表示灯

本機の電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時は緑色に点灯します。赤色で早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(13頁の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。(ワイヤレス2、3は別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350増設時に上記と同様に点灯します。)

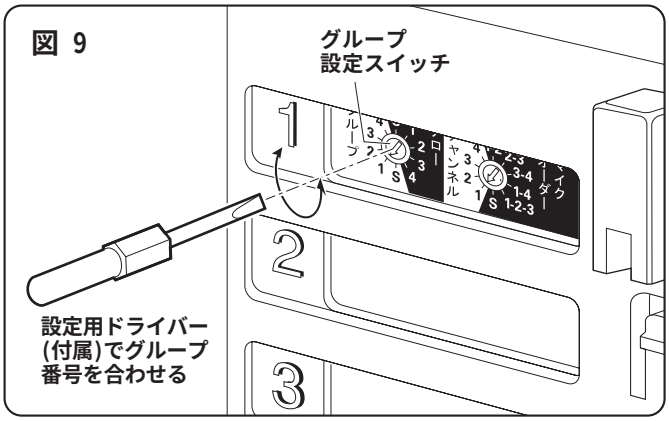


周波数設定のしかた

●本機は出荷時に、ワイヤレスチューナー部のグループ／チャンネル番号を「C11」に設定しています。
周波数設定を切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、次の要領でおこなってください。
(図9/10参照)

1.グループ番号を設定する
グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号に合わせます。(図 9参照)

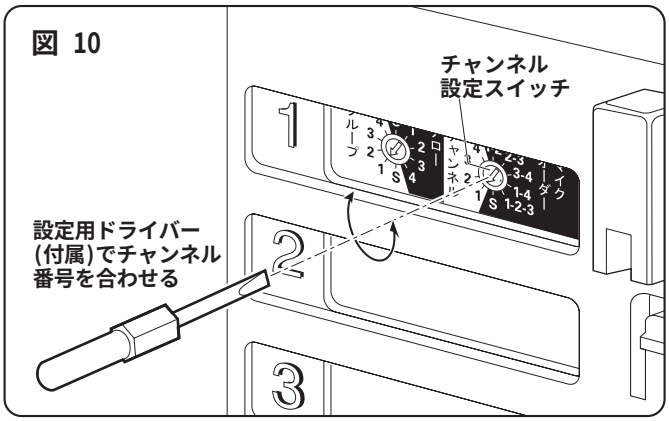
図 9



2.チャンネル番号を設定する
次にチャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図10参照)

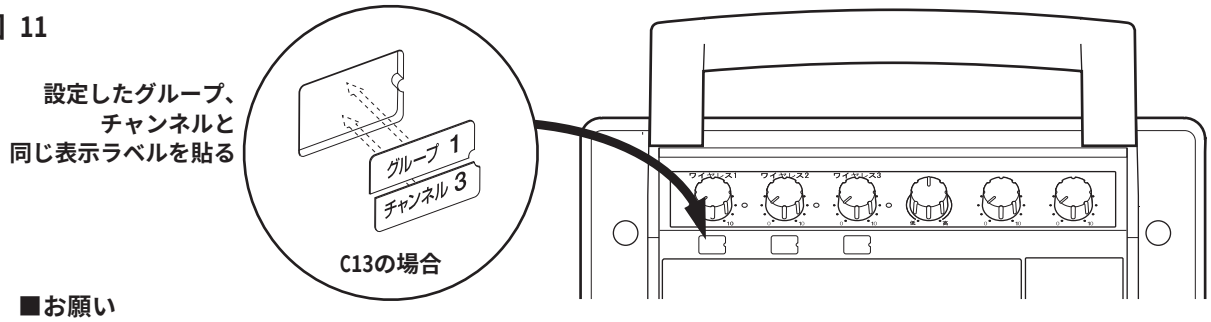
■ご注意
アンテナ受信表示灯が赤色に点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(13頁の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。

図 10



3.収納部ふたを締め、チャンネル表示ラベルを貼る
・元どおりに収納部ふたを取り付けてください。
・設定したグループ、チャンネルと同じ表示ラベル(付属)をワイヤレスマイク音量調節つまみの下部に貼ってください。(図11参照)

図 11



■お願い
●本機のワイヤレスチューナー部は収納部内にありますのでチャンネル表示ラベルを貼って頂き、外部より周波数設定を確認できるようにしてください。

ご注意
●受信機とマイクは同じ周波数(グループ及びチャンネル)に設定してください。
●同時に使用するマイクは全て同じグループにして全て違うチャンネルに設定してください。
(13頁の受信周波数表を参照)
●1ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は13頁の「グループ／チャンネル番号について」の項を参照してください。
●ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクの距離は15m以内で使用してください。なお環境条件によっては短くなります。
●同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離は約2m～10mの距離でご使用ください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。
●ワイヤレスマイクを2本以上ご使用の場合は、マイクロホンどうしは50cm以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。

300MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループ／チャンネル番号について（下記文中のチャンネル数は本機を複数台使用の場合を含みます。）

●同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。
(グループ1～4の中から1つのグループを選びます。)

・グループ1～3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。

・グループ4は1波使用できます。

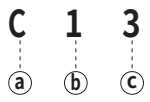
●周波数一覧表にないグループ／チャンネル番号に設定すると､受信表示灯が点滅し受信できません｡必ず周波数一覧表を見て設定してください。

受信周波数表→

周波数 (MHz)	グループ／チャンネル 番号			
	グループ	グループ	グループ	グループ
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

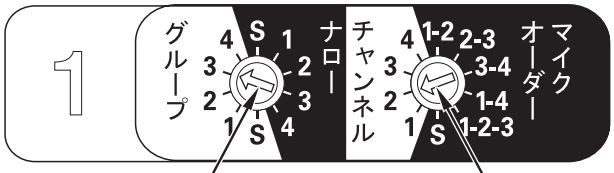
図12　例



ⓐ ……300MHz帯を表わす
ⓑ ……グループ番号を表わす
ⓒ ……グループ内のチャンネル番号を表わす

■グループ／チャンネル番号の設定例

図13　使用するワイヤレスマイクのグループ／チャンネル番号が「C32」の場合

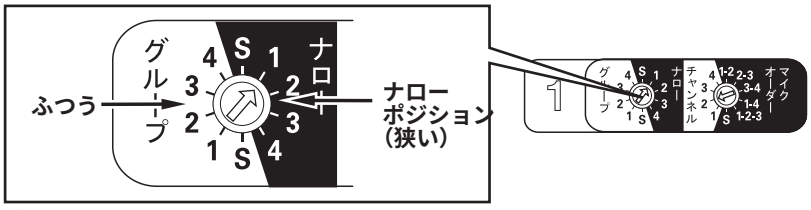


グループ設定スイッチの矢印を「3」の位置にまわす

チャンネル設定スイッチの矢印を「2」の位置にまわす

ナローポジションについて

◆グループ設定スイッチを「ナロー」側でグループ番号を設定する場合。



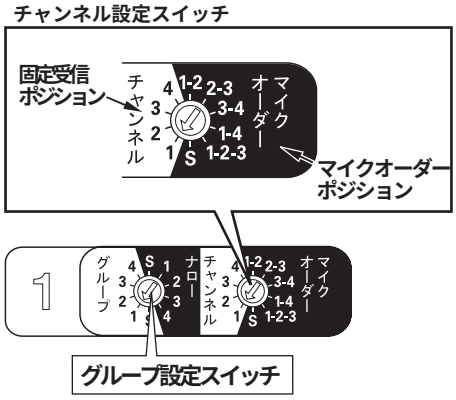
グループ設定スイッチ

・本機を使用中に､近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき､または混信の恐れがあるときに設定してください｡受信感度を抑え､混信を防ぐことができます。

マイクオーダーについて

●本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。

図 14



◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ / チャンネル設定スイッチ		1	2	3
マイクオーダーポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
	S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34

◆「マイクオーダーポジション」とは ？

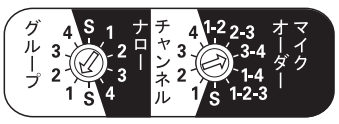
・チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2〜4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。（図14参照）

・最大4チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用（電源スイッチ「ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。（図15参照）

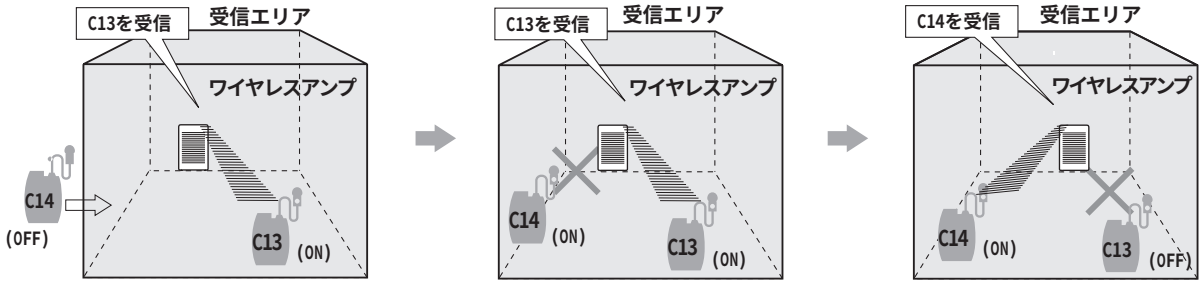
・受信中マイクの使用が終わり（電源スイッチ「OFF」）次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。（図15参照）

・受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1、2、3」のいずれかに設定してください。「4／S」には設定しないでください。

図 15　マイクオーダー運用例



・グループスイッチの設定……1
（または2，3 のいずれか）
・チャンネルスイッチの設定……3-4
（または1-2,2-3,1-4,1-2-3,Sのいずれか）



① ワイヤレスマイク（C13）を受信中

② ワイヤレスマイク（C13）を受信中
ワイヤレスマイク（C14）は使用不可

③ ワイヤレスマイク（C13）は使用終了
ワイヤレスマイク（C14）は使用可能

ご注意．．　●別売ワイヤレスチューナーユニット組込時にマイクオーダーポジションでチャンネルを設定する場合は、両チューナーのチャンネル番号が互いに重複しないようにご注意してください。

・チャンネル番号が互いに重複する組合わせ例：「1/1-2」「2/2-3」「1-2/2-3」「2-3/3-4」など

・正しいチャンネル番号組合わせ例：「1/2-3」「2/1-4」「3/1-2」「1-2/3-4」「2-3/1-4」など（必ずチャンネル番号が互いに重複しない組合わせでご使用ください。）

別売ワイヤレスチューナーユニットの取付方法

●本機は別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350を追加で2台組み込むことができます。取付は販売店または、最寄りのユニペックス営業所にご相談ください。

1.収納部ふたを開ける

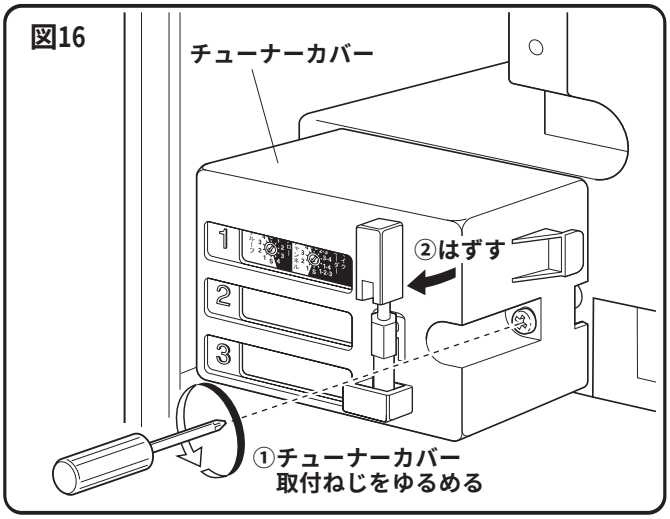
ふたストッパーを下向きに押さえ、収納部ふたを手前に開けてください。内部にAC電源コード、乾電池収納部、蓄電池収納部があります。7頁の「収納部ふたについて」をご覧ください。

2.チューナーカバーをはずす

本機のチューナーカバーの取付ねじをゆるめ、チューナーカバーを右図の矢印の方向に取りはずしてください。(図16参照)

> ⚠警告 ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業をおこなわないでください。作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

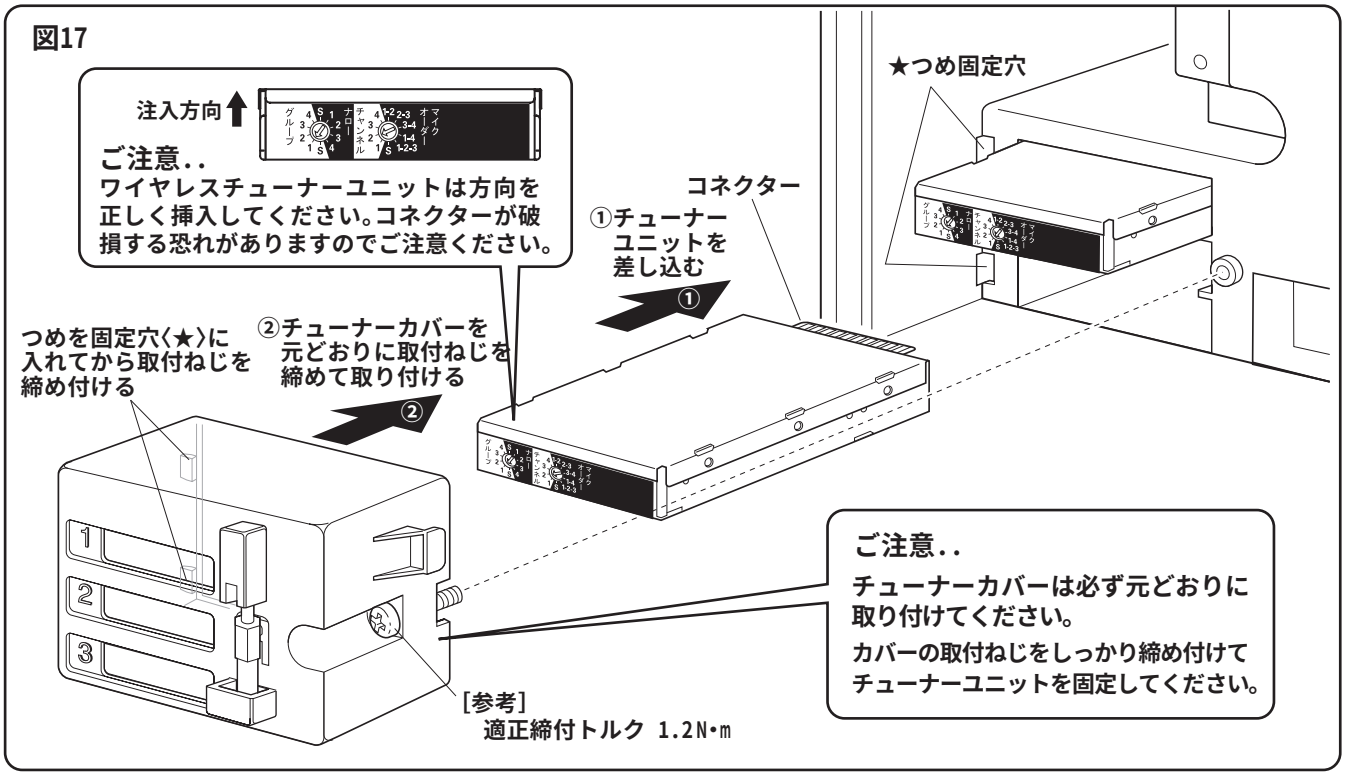
図16



3.ワイヤレスチューナーユニットを組み込む

ワイヤレスチューナーユニットを本機のワイヤレスチューナーユニット挿入口に挿入しチューナーカバーを元どおりに取り付け、取付ねじを締め付けて固定してください。(図17参照)

図17



4.周波数を設定する

・ワイヤレスチューナーユニットは出荷時にグループ／チャンネル番号を「C11」に設定しています。周波数設定を切り換える場合は、11頁の「周波数設定のしかた」、またはワイヤレスチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

5.収納部ふたを締め、チャンネル表示ラベルを貼る

・元どおりに収納部ふたを取り付けてください。

・設定したグループ、チャンネルと同じ表示ラベル(チューナーユニットに付属)を本機後面のワイヤレスマイク音量調節つまみの下部に貼ってください。11頁の「周波数設定のしかた」をご覧ください。

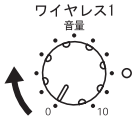
操作のしかた

⚠注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

ワイヤレスマイクの使い方

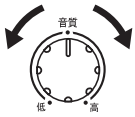
3.ワイヤレスマイクの音量を調節する

ワイヤレスマイクの音量をワイヤレスマイク1音量調節つまみで調節してください。

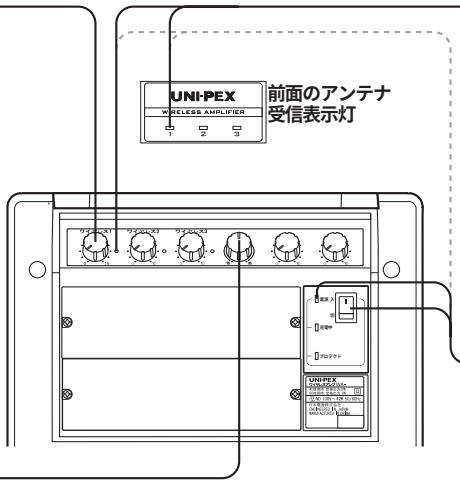


4.音質を調節する

ワイヤレスマイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。

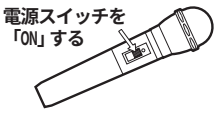


すべての入力に共通して音質が調節されます。



2.ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にする

アンテナ受信表示灯が赤色から緑色の点灯に変わります。

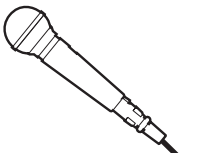


1.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ電源表示灯が緑色に点灯していることを確認してください。アンテナ受信表示灯は赤色に点灯します。
（別売のワイヤレスチューナーユニットSU-350を増設していない箇所の受信表示灯は点灯しません。）

有線マイクの使い方

1.マイクプラグをマイク入力ジャックに接続する

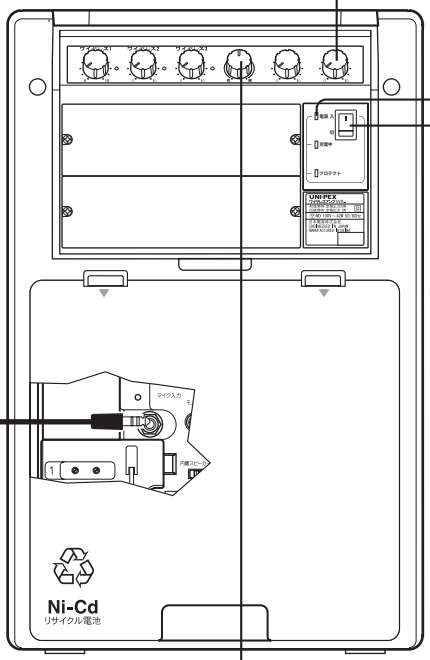


3.マイクの音量を調節する

マイクの音量をマイク音量調節つまみで調節してください。

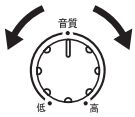
2.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が緑色に点灯していることを確認してください。



4.音質を調節する

マイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。

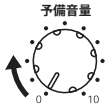


すべての入力に共通して音質が調節されます。

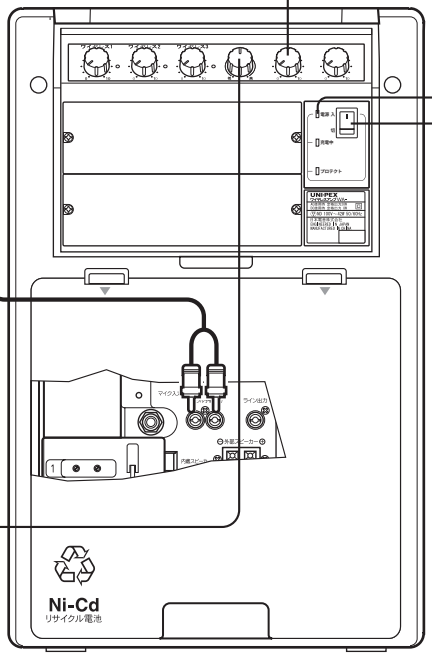
予備入力に接続されたCDプレーヤーなどの放送をするとき

1.CDプレーヤーなどの接続
プラグをモノラル予備入力ピンジャックに接続する

3.音量を調節する
音量を予備音量調節つまみで調節してください。

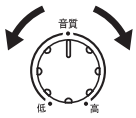


外部機器
接続ケーブル
（付属）



2.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が緑色に点灯していることを確認してください。

4.音質を調節する
CDプレーヤーなどの音質を音質調節つまみで調節してください。



すべての入力に共通して音質が調節されま

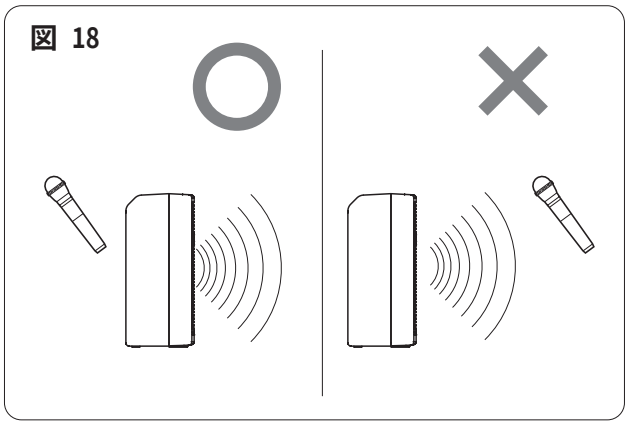
ご注意.. ◯AC電源コードやその他の接続コードが正しく接続されているか確認してください。
◯各音量調節つまみは反時計回り最小の位置に合わせておいてください。

ハウリングとデッドポイントについて

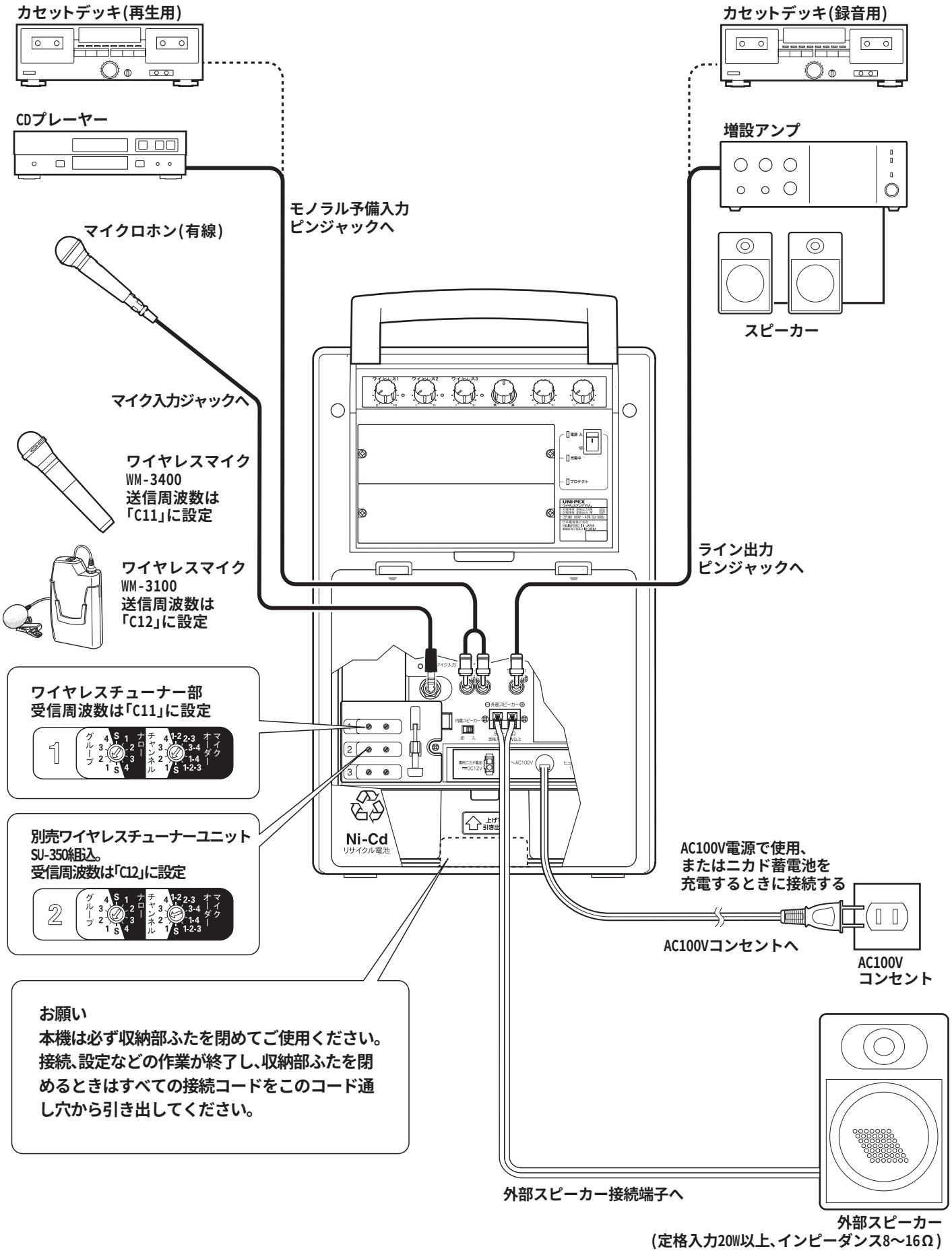
●ワイヤレスマイクや有線マイクをスピーカーの真正面近くで使用したり､音量を上げすぎたりすると｢キーン｣というハウリングが起きます｡ハウリングが起きた場合は､ただちに音量を下げるか､マイクの位置をスピーカーの方向からそらすと止まります｡(図18参照)

●ワイヤレスマイクを移動しながら使用していると､突然音がでなくなる位置があります｡これをデッドポイントといい､ワイヤレスマイクと本機内蔵アンテナの位置と壁､障害物などの位置関係により生ずるもので故障ではありません｡本機の位置、あるいはワイヤレスマイクの位置を変えるとなおります。

図 18



接続例


カセットデッキ(再生用)
カセットデッキ(録音用)
CDプレーヤー
増設アンプ
モノラル予備入力
ピンジャックへ
マイクロホン(有線)
スピーカー
マイク入力ジャックへ
ワイヤレスマイク
WM-3400
送信周波数は
「C11」に設定
ライン出力
ピンジャックへ
ワイヤレスマイク
WM-3100
送信周波数は
「C12」に設定
ワイヤレスチューナー部
受信周波数は「C11」に設定
別売ワイヤレスチューナーユニット
SU-350組込。
受信周波数は「C12」に設定
Ni-Cd
リサイクル電池
AC100V電源で使用、
またはニカド蓄電池を
充電するときに接続する
AC100Vコンセントへ
AC100V
コンセント
お願い
本機は必ず収納部ふたを閉めてご使用ください。
接続、設定などの作業が終了し、収納部ふたを閉
めるときはすべての接続コードをこのコード通
し穴から引き出してください。
外部スピーカー接続端子へ
外部スピーカー
(定格入力20W以上、インピーダンス8〜16Ω)

点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

⚠警告

- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は必ず販売店などにご依頼ください。

症　　状	点　検　項　目	対　　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が緑色に点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	乾電池は入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
全く動作しない （プロテクト表示灯が点灯）	乾電池または蓄電池が消耗していませんか。	乾電池の場合は全部新しい電池に取り換え、ニカド電池の場合は充電をおこなってください。
	外部スピーカー接続端子が短絡していませんか。	外部スピーカー及びその接続を確認してください。
	本機の増幅部の温度が上昇していませんか。	電源スイッチを切り温度を下げてください。温度が上昇する原因を確認してください。
有線マイクの音声がでてこない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
接続機器の音がおかしいまたは小さい	接続機器のインピーダンスは合っていますか。	確認してください。
	DC電源で使用の場合、乾電池またはニカド蓄電池が消耗していませんか。	乾電池の場合は全部新しい電池に取り換え、ニカド電池の場合は充電をおこなってください。
	接続機器及び本機の予備音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
内蔵スピーカーの音がでない	内蔵スピーカー切換スイッチが「OFF」位置になっていませんか。	確認してください。
外部スピーカーの音がでない	正しく接続されていますか。	確認してください。

ワイヤレスチューナーユニット部

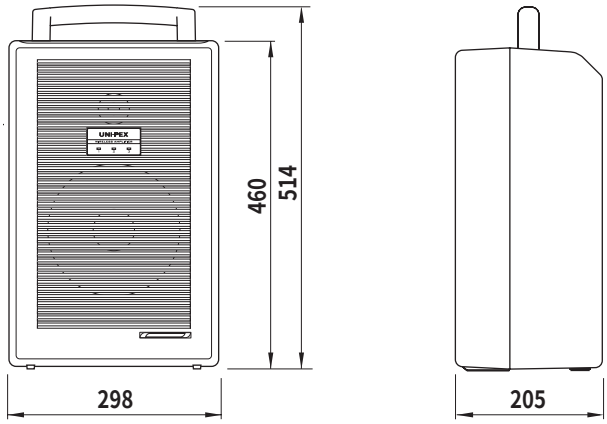
症　　状	点　検　項　目	対　　策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が緑色に点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスマイクの音声がでてこない	マイクの電源スイッチは入っていますか	マイクの電源スイッチを入れてください。
	マイクの電池が入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	マイクとワイヤレスチューナー部のグループ／チャンネル番号の設定は同じですか。	グループ／チャンネル番号を確認してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	ワイヤレスマイク音量調節つまみが絞られていませんか。	適当な音量に調節してください。

定　格

品　　番	WA-361A
使　用　電　源	AC100V　50/60Hz、単一乾電池(R20P/LR20)×8、専用ニカド蓄電池
定格消費電力	42W（電気用品安全法による測定方法に基づく）
消　費　電　流	AC0.49A（20W出力時）
	DC0.96A（8W出力時）
定　格　出　力	AC時：20W，　DC時：8W
ひ　ず　み　率	5%（1kHz 定格出力時）
周　波　数　特　性	70Hz～12kHz（偏差±3dB）
音　質　調　節	4kHzに 於いて＋5dB／－10dB（1kHz基準）調節器付
入力感度及び インピーダンス	マイク　：約－56dBV　600Ω　不平衡　音量調節器付 予　備　：約－22dBV　10kΩ　不平衡　音量調節器付 チューナー部入力：約－26dBV　10kΩ　不平衡
信号対雑音比	70dB以上
外部接続スピーカー	8Ω～16Ω　許容入力　20W以上
ラ　イ　ン　出　力	0dBV　1kΩ　不平衡
アンテナ方式	ダイポールアンテナ（内蔵）
動　作　表　示	電源：発光ダイオード(緑)　減電圧時(赤)、充電：発光ダイオード(緑)、プロテクト表示：発光ダイオード(赤)、 アンテナ受信表示：待機時(赤)、受信時(緑)、設定外時(赤/点滅)
●チューナー部	
受　信　周　波　数	322.025MHz～322.150MHz、322.250MHz～322.400MHz（25kHz間隔13波）
出荷時設定受信周波数 (グループ/チャンネル番号)	322.050MHz（C11）
受　信　方　式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受　信　感　度	20dBμV
使用温度範囲	0℃～＋40℃
外　　装	ケース(ABS樹脂)：マンセルN7.5 近似色　ライトグレー、保護カバー(PC樹脂)：ライトブルー系クリアー
寸　　法	幅298㎜　奥行205㎜　高さ460㎜
質　　量	9.2 kg(乾電池､蓄電池を除く)
付　属　品	取扱説明書(保証書付)1､電池ケース 1､マイク収納ケース 1､設定用ドライバー 1､チャンネル表示ラベル 1､外部機器接続用ケーブル 1
適　合　品	ニカド蓄電池(WBT-2000)､ワイヤレスチューナーユニット(SU-350)､ CDプレーヤーユニット(CDU-103)､SDレコーダーユニット(SDU-200)

外観寸法図

(単位㎜)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

UNI-PEX

SDレコーダーユニット

取扱説明書

SDU-200

このたびは、SDレコーダーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本機はSDカードに収録されたMP3形式データの再生、及び本機が接続された機器の音声を録音するためのレコーダーです。使用する記録媒体はSDカード（別売）です。用途に適した容量のものを別途ご用意ください。

目　次

安全上のご注意……2、3
免責事項について……4
本機を長期間お使いの場合……4
特 長……5
準備作業……6、7
　□SDカードの準備……6、7
　□ＭＰ3音源の準備……7
　□バックアップの勧め……7
各部の名称と説明（前面）……8
操作方法……9～17
　□通常再生のしかた……9
　□プログラム再生のしかた……10
　□再生の停止、一時停止のしかた……11
　□音量調節のしかた……11
　□スピード調節のしかた……11
　□リピート再生のしかた……12
　□リレー再生のしかた……12
　□ランダム再生のしかた……12
　□再生時のご注意……13
　□録音について……14、15
　□録音時のご注意……15
　□録音のしかた……16、17
　□高感度モードについて……16
設定方法……18～24
　□消去のしかた……18、19
　□プログラムの編集……20～23
　　登録……20、21
　　消去……21、22
　　修正……22、23
　□フォーマット（初期化）のしかた……24
組込方法……25、26
　□組込時のご注意……25
　□組み込みのしかた……25、26
SDカードの挿入方法……27
エラーメッセージの説明……28
故障と思う前に……29
著作権法について……29
定格……30
外観寸法図……30
SDカードファイルリスト……32

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解／改造はしない

火災･感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災･感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

SDカード挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。

１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②接続コード・コネクターが異常に熱い。または亀裂や傷がある。 ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特 長

●本機は、SDカードを用いたＭＰ3(MPEG1 Audio Layer-3)音源の再生、録音機能をもったレコーダーです。

1)ＳＤカードを採用し、様々なメモリ容量に対応

・小容量の16ＭＢから大容量の2ＧＢまでの容量に対応。
・30時間程度の長時間再生、録音が可能。

2)簡潔な操作と表示

・表示にはグラフィカルな液晶を採用。バックライトで昼夜明瞭なインフォメーションを提供。
・ダイレクトでわかり易い操作を実現。

3)豊富な再生方法

・通常の連続再生に加え、シチュエーションに合わせた豊富な機能搭載。
・再生速度を±15段階で変化させる事が可能。

4)録音機能搭載

・搭載機器で鳴動している音声の録音が可能。
・各種録音保護機能搭載。

5)故障が少ない

・機械的な、磨耗や劣化による故障がない。
・振動、衝撃による音とびがない。

準備作業

□SDカードの準備について

・本機のご使用にあたってはSDカード(別売)を別途ご用意してください。
用意するにあたって下記の点にご注意ください。

・SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ(右記参照)が明示されたロゴのものを使用してください。

SDロゴは商標です。

・対応しているSDカードは16ＭＢ～2ＧＢの9種類です。下記に録音時間の目安を記載いたしますので、その中から必要に応じた容量のカードを選択してください。

・SDHC(SD High Capacity)規格のSDカードには対応しておりません。

ご使用可能なＳＤカードについて

●一部のメーカーや特定のＳＤカードで、本機器ではご使用頂けない場合がございます。正常な動作を確認できたSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問合せをお願い致します。

SDカードの録音時間のめやす

カードの容量	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
録音時間	約15分	約30分	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	約16時間	約32時間

注)ミニSDカード、SDHCカード、及びマイクロSDカードは使用不可

・SDカードは本機でフォーマット(初期化)したものをご利用ください。
市販のものをそのまま用いた場合や、パソコン等本機以外の機器でフォーマットを行った場合、データが破損したり、正常に録音、再生が行われない恐れがあります。

・本機以外のパソコン等でフォーマットを行う場合はSDカードフォーマッター※1をお使いください。(24頁フォーマットのしかた参照))

※1　http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html

・ｍｉｎｉSDカードやｍｉｃｒｏSDカードは使用しないでください。アダプタの仕様により動作しないものがあります。

□ＭＰ3音源の準備について・音楽などをSDメモリーカードに収録する場合は以下の二つの方法があります。

1. ダイレクト録音（本機での録音）をおこなう・本機が接続された機器で再生される音声を録音する事で本機にＭＰ3形式の音源を作成します。（14～17頁録音のしかた参照）

2. パソコン等のＭＰ3形式の音源データをSDカードに転送する。

・「SDカードの準備について」で用意したSDカードに、ＭＰ3形式データを転送してください。転送するにあたって下記の点にご注意ください。

・本機はフォルダやプレイリストには対応していませんのでファイルはフォルダー等をつくらずに転送をしてください。

○ファイル名の拡張子は半角文字の「.MP3」としてください。
ファイル名の付与例 →「ABCD1234.MP3」

○MP3データは下記のフォーマットに対応しています。
サンプリング周波数：16kHz～48kHz
ビットレート：32kbps～320kbps
VBR対応（＊VBR：可変ビットレート）

○サンプリング周波数と、ビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

○可変ビットレートのファイルに関しては、演奏時間表示が正常に表示されない場合がありますが、異常ではありません。

○詳しくはパソコン及び関連するアプリケーションなどの説明書をご覧ください。

□SDカード内のデータのバックアップについて

・SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明(前面)

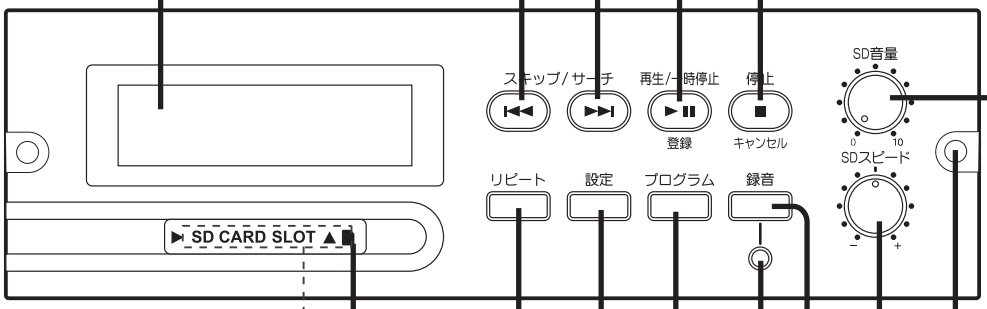
スキップ/サーチボタン(アップ)
曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早送りします。

スキップ/サーチボタン(ダウン)
曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早戻しします。

ディスプレイ
操作／動作状態及びファイル名を表示します。バックライトは操作を行わず停止状態が15分間継続すると消灯します。表示項目の詳細は、操作方法の各項目を参照ください。

再生/一時停止(登録)ボタン
停止中に再生を始める時に押します。再生中に一時停止する時はこのボタンを押します。(9頁再生のしかた参照)
また状態を決定(登録)する時にもこのボタンを用います。

停止(キャンセル)ボタン
再生を停止する時に押します。(9頁再生のしかた参照)
録音待機で押すと停止状態に、録音中に押すと録音処理を終了した後停止状態になります。(16頁録音のしかた参照)また各々の操作を途中で取り止める(キャンセル)場合はこのボタンを押してください。



音量調節つまみ
再生音量を調節します。録音時には使用できません。(11頁音量調節のしかた参照)

取付穴
P25の組込方法の説明をご覧ください。

SDカード挿入口
ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

スピード調節つまみ
再生スピードを調節します。録音時には使用できません。(11頁スピード調節のしかた参照)

ダストカバー
ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。挿入後は必ず元どおりにダストカバーを取り付けてください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

録音ボタン
録音を開始する時に押します。押された後は録音待機状態に移行します。(16頁録音のしかた参照)

リピートボタン
リピート再生をする時に押します。押すたびに、全曲リピート⇒1曲リピート⇒リレー再生⇒ランダム再生⇒解除と状態が切り替わります。(12頁リピート再生のしかた参照)

録音表示灯
録音待機状態で点滅、録音中に点灯します。(16頁録音のしかた参照)

設定ボタン
音声ファイルの消去、SDカードのフォーマット(初期化)、プログラム再生の曲順登録、修正及び削除の設定をおこないます。(18頁設定方法参照)

プログラム再生ボタン
プログラム再生をする時に押します。押されるとディスプレイの右下に「ＰＲＯＧ.」が表示されプログラム再生モードに移行します。(10頁プログラム再生のしかた参照)

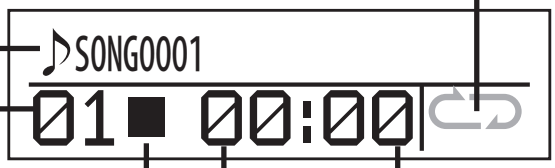
操作方法

ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

□通常再生のしかた

ディスプレイ部(再生時)

ファイル名表示
ファイル名称を表示します。ファイル名に曲名を記載するとその内容を表示することができます。最大で全角文字9文字(半角18文字)まで一度に表示されます。



再生モード表示
演奏モード(1回のみ／リピート)を表示。

無表示 ： 全曲1回のみ再生
↻ ： 全曲リピート再生
↻1 ： 1曲のみリピート再生
1 ： 1曲再生後停止、次曲で待機
⇄ ： ランダム再生

電源をオフにしても前回に設定された再生モードを保持します。
(12頁再生モードの設定参照)

トラック番号表示
トラック(曲)番号を表示します。(01～512[最大])

演奏時間表示(分:秒)
演奏中の曲の経過時間のめやすを表示します。

注)本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

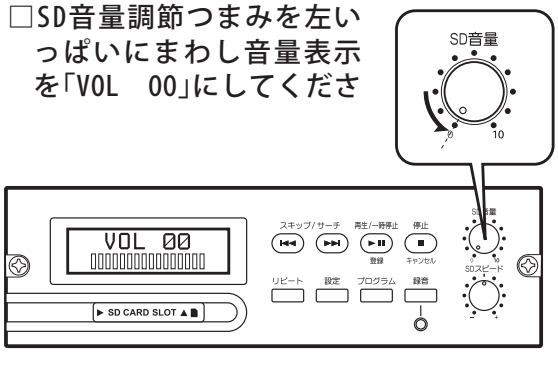
状態表示アイコン
曲の停止／再生／一時停止を表示。

■ ： 停止
▶ ： 再生
⏸ ： 一時停止、録音一時停止
● ： 録音
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

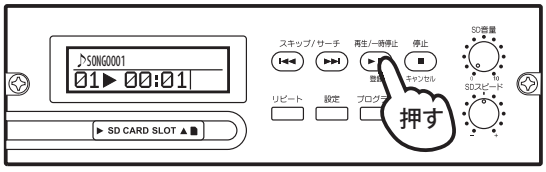
1. 電源を入れる
□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2. SDカード挿入口にカードを入れる
□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

3. 音量を「00」にする
□SD音量調節つまみを左いっぱいにまわし音量表示を「VOL　00」にしてくださ

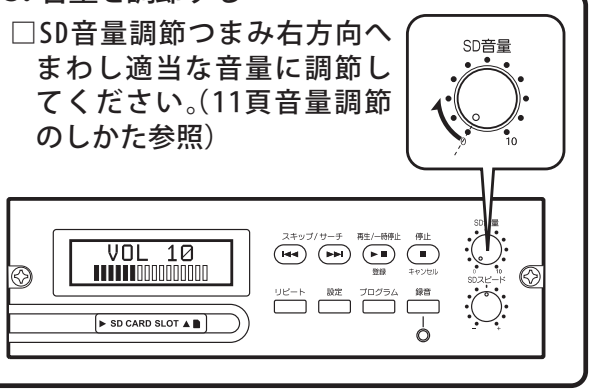


4. 再生/一時停止ボタンを押す
□再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。



●再生の前に
・再生モードを確認する。
・任意の曲を再生させる場合はスキップ/サーチボタンで曲を選択してください。

5. 音量を調節する
□SD音量調節つまみ右方向へまわし適当な音量に調節してください。(11頁音量調節のしかた参照)



操作方法

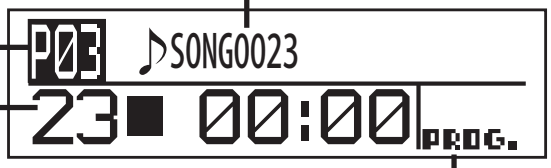
□プログラム再生のしかた

再生モード表示・演奏時間表示・状態表示アイコンについては、9頁のディスプレイ部（再生時）の説明と同じです。

ディスプレイ部（プログラム再生時）

プログラム番号表示
プログラム番号を表示します。
（01～32）

ファイル名表示
プログラム番号に対応したファイル名称を表示します。ファイル名に曲名を記載するとその内容が表示されます。
最大で全角文字7文字（半角14文字）まで一度に表示されます。



トラック番号表示
プログラム番号に対応したトラック（曲）番号を表示します。（01～512［最大］）

プログラム表示
プログラム再生モードであることを示します。

1. 電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2. SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。（27頁SDカードの挿入方法参照）

プログラム登録済の場合は4. へ

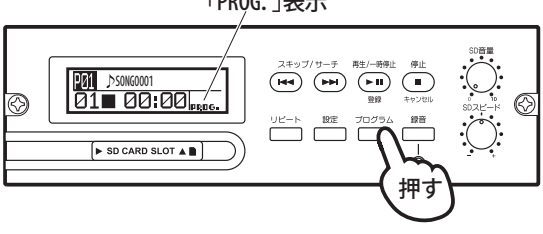
プログラム未登録の場合は3. へ

3. プログラム登録をおこなう

□プログラムの登録がおこなわれていない場合は（20頁プログラム登録）を参照して登録してください。

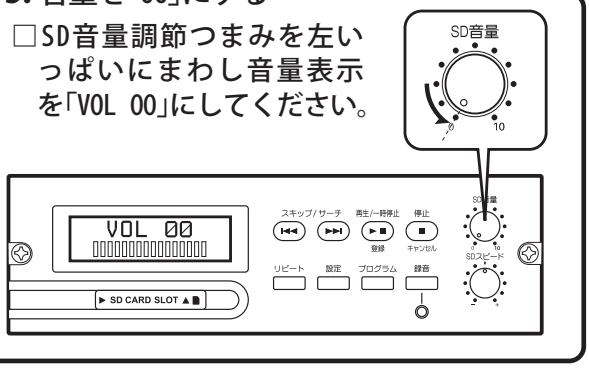
4. プログラムボタンを押す

□「ＰＲＯＧ」表示がおこなわれプログラム再生モードに移行します。移行時はプログラム番号01番のファイル名とトラック番号を示します。



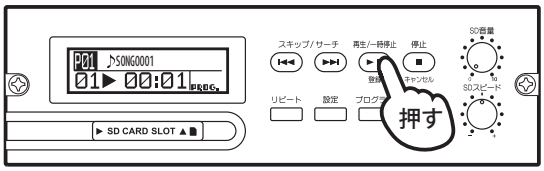
5. 音量を「00」にする

□SD音量調節つまみを左いっぱいにまわし音量表示を「VOL 00」にしてください。



6. 再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。



●再生の前に
・再生モードを確認する。

7. 音量を調節する

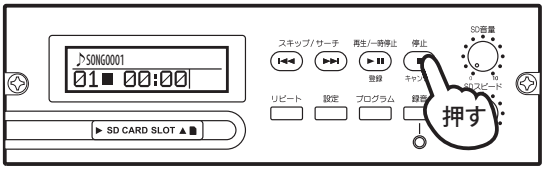
□SD音量調節つまみを右方向へまわし適当な音量に調節してください。（11頁音量調節のしかた参照）

□再生の停止、一時停止のしかた

演奏を停止するには

停止ボタンを押す

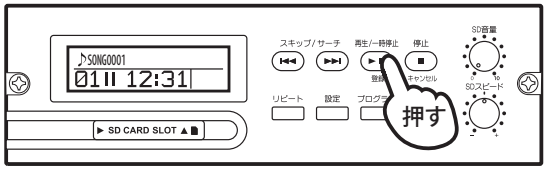
□演奏中に停止ボタンを押しますと、その曲(トラック)の頭に移動し、停止します。
□再度押しますと一番前のトラック位置で停止状態に変わります。



演奏を一時停止(ポーズ)するには

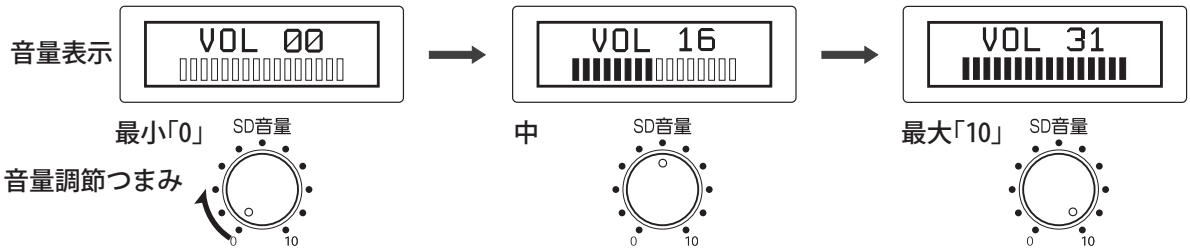
再生/一時停止ボタンを押す

□演奏中に再生/一時停止ボタンを押しますと演奏が止まります。再度押しますと停止位置からの再生が始まります。



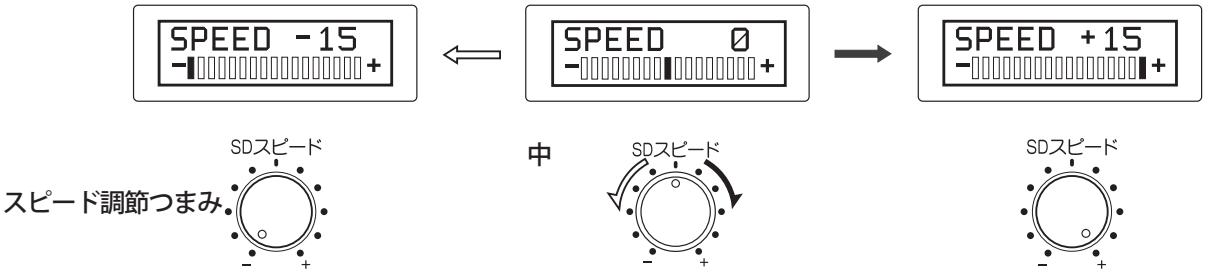
□音量調節のしかた

□音量を上げるときは音量調節つまみを右方向に、音量を下げるときは左方向にまわしてください。停止時及び演奏中に調節できます。
□音量は0～31の数値と16段階のバーメーターで表示します。



□スピード調節のしかた

□再生スピードを遅くするときは左方向に、早くするときは右方向にまわしてください。停止時及び演奏中に調節できます。
□再生スピードは－15～＋15の数値と17段階のバーメーターで表示します。
□スピード調節と同時に音程も変化します。

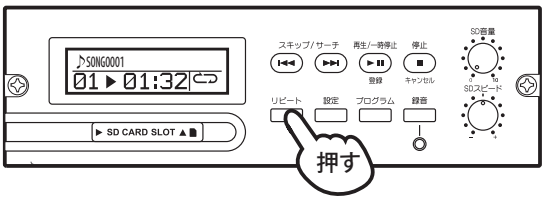


操作方法

□再生モードの設定

□リピートボタンを押すことを繰返しますと無表示→ ↺ →↺1→ 1→⇄→の順に変わります。下表を参考にしてリピートモードを設定してください。

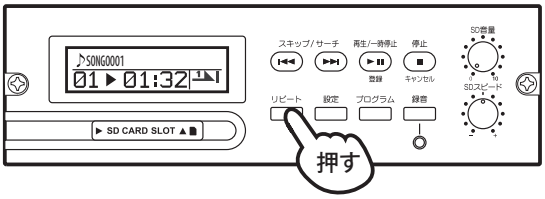
リピート再生のしかた



リピートボタンを押す

↺	全曲リピート（全曲を繰り返し再生します。）
↺1	1曲リピート （今演奏している曲を繰り返し再生します。）

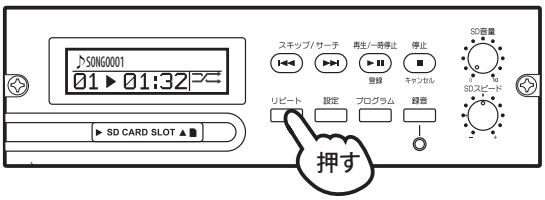
リレー再生のしかた



リピートボタンを押す

1→	リレー再生 （一曲再生ごとに停止し、次の曲で待機します。）

ランダム再生のしかた



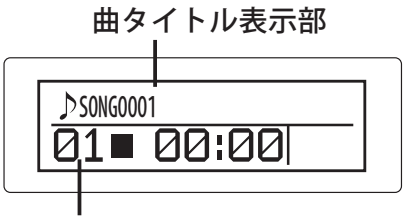
リピートボタンを押す

⇄	ランダム再生 （曲順をランダムに再生します。）

□再生時のご注意

SDカードの再生順について

■本機で使用するSDカードはカードへ転送、及び録音した順番でトラック番号が付けられます。曲ファイルはそのトラック番号の順番で再生されます。



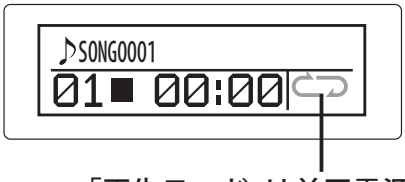
■ご注意
トラック番号は曲タイトル表示部の「SONG －－－－」の番号と同じではありません。

SDカードの再生時間について

■本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

電源起動後の状態について

■本機はリピートや再生モード(リレー再生、プログラム再生)の状態は電源オフ後も前回の設定を記憶しています。

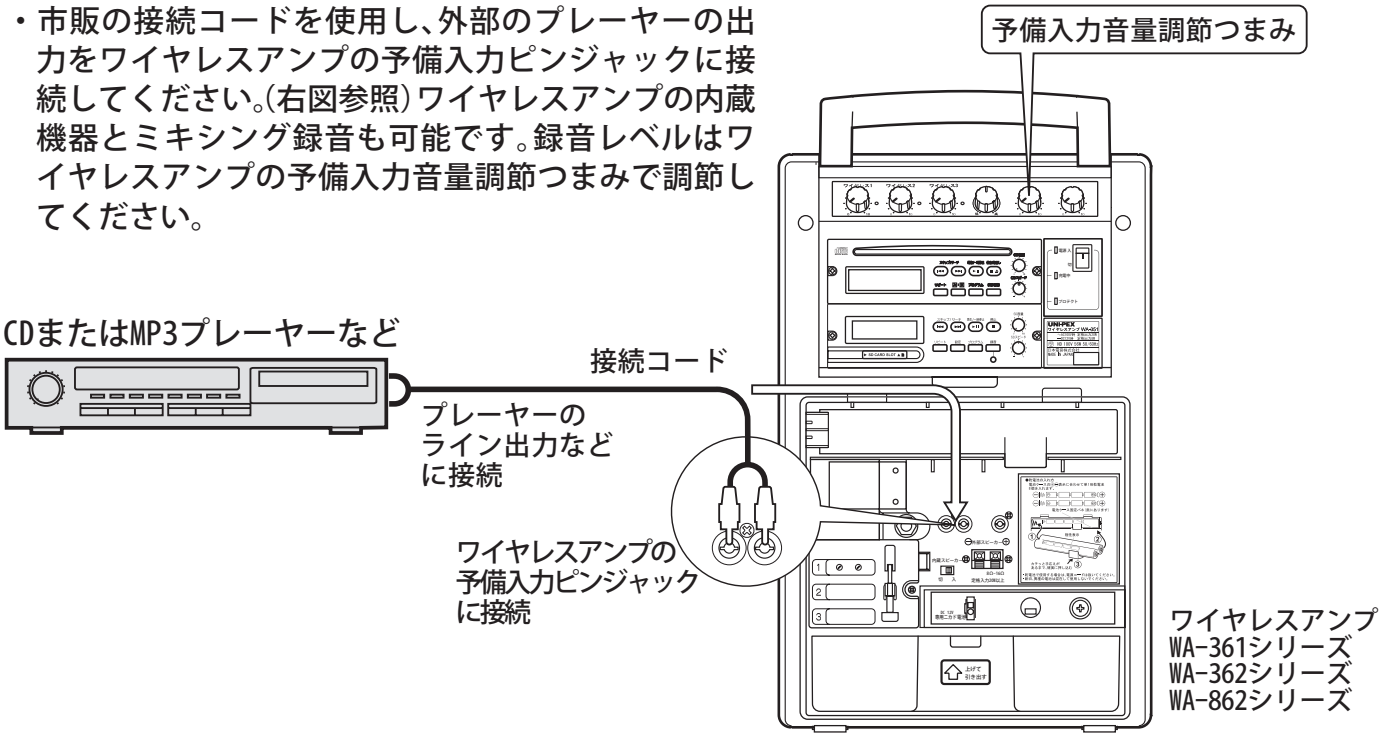


操作方法

□録音について

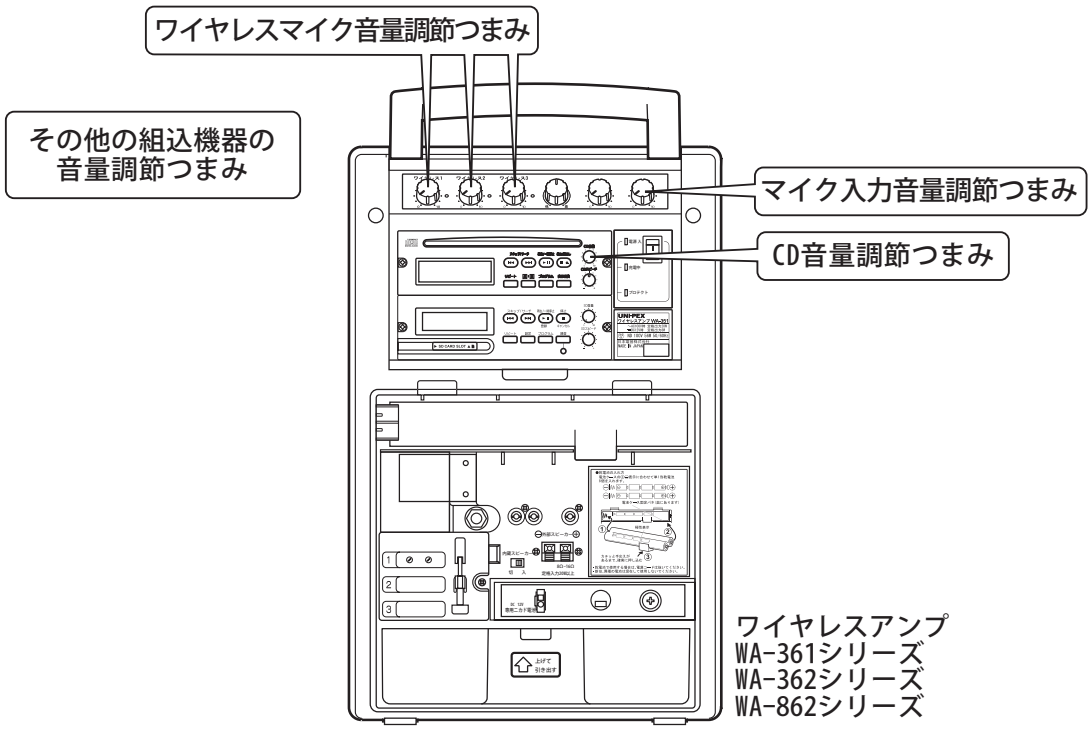
外部のプレーヤーの音楽を録音する場合

・市販の接続コードを使用し、外部のプレーヤーの出力をワイヤレスアンプの予備入力ピンジャックに接続してください。(右図参照)ワイヤレスアンプの内蔵機器とミキシング録音も可能です。録音レベルはワイヤレスアンプの予備入力音量調節つまみで調節してください。



組込機器のプレーヤーやマイクを使用し録音する場合

・ワイヤレスアンプに内蔵の機器をそれぞれミキシング録音することができます。それぞれの録音レベルは各音量調節つまみで調節してください。



ディスプレイ部(録音時)

ファイル名表示
これから録音する曲のタイトルが表示されます。

録音レベル表示
録音レベルを表示します。3～5が適正レベルです。「Hi」は高感度モード設定時に表示します。
(16頁高感度モードについて参照)

6(最大)	2
5	1
4	0(最小)
3	Hi 高感度モード

トラック番号表示
これから録音する曲のトラック番号が表示されます。

メモリー使用量表示
メモリー使用量が表示されます。録音する前に充分なメモリー残量があるかを確認してください。

6(最大)	2
5	1
4	0(最小)
3	

状態表示アイコン
録音の一時停止／録音中／停止を表示。
- ⏸ ： 録音一時停止
- ● ： 録音
- ■ ： 停止

録音時間表示(分:秒)
録音中の曲の録音時間のめやすを表示します。ただし60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。

録音時のご注意

□SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと録音操作は「ライトプロテクト」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(27頁の「誤消去防止スイッチについて」の説明をご覧ください。)

□録音レベルは録音レベル表示が3と4を常時示す程度に設定してください。極端に録音レベルが高く、または低くないようにご注意ください。テスト録音をして適正な録音レベルを設定し録音されることをおすすめします。

□録音レベルが低い場合、デジタル特有のノイズが録音される場合があります。

□放送中に内容を録音するときなどで、小さな音でしか録音できない場合は「高感度モード」に設定して録音してください。(16頁の「高感度モードについて」の説明をご覧ください。)

□録音中、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

□「保存中」表示中に電源を切ったり、SDカードを取り出さないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

□録音時に録音する音声が大音量で放送され聴力障害などの原因になることがあります。必ずワイヤレスアンプの収納部にある内蔵スピーカー切換スイッチを「切」側にしてください。再びこのスイッチを元に戻す前には、必ずすべての音量調節つまみを最小にしてください。(放送中に内容を録音する場合は除く)

操作方法

□録音のしかた

1. 電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ､電源表示灯が点灯していることを確認してください。

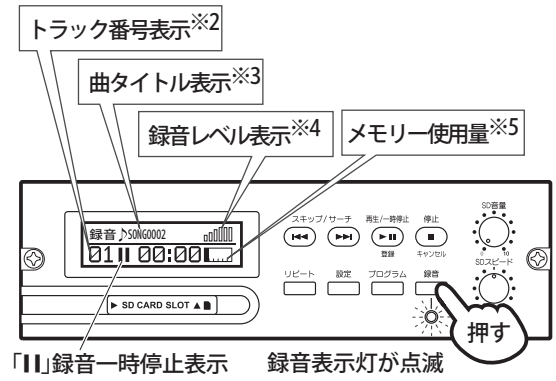
2. SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。(27頁の｢SDカードの挿入方法｣をご覧ください。)

3. 録音ボタンを押す

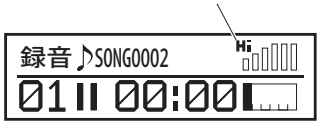
□録音ボタンを押すと録音待機状態になり録音表示灯が点滅します。

※2 これから録音する曲のトラック番号が表示されます。
※3 これから録音する曲のタイトルが表示されます。
※4 録音レベルが表示されます。高感度モード設定時は左上部に｢Hi｣が表示されます。



■高感度モードについて

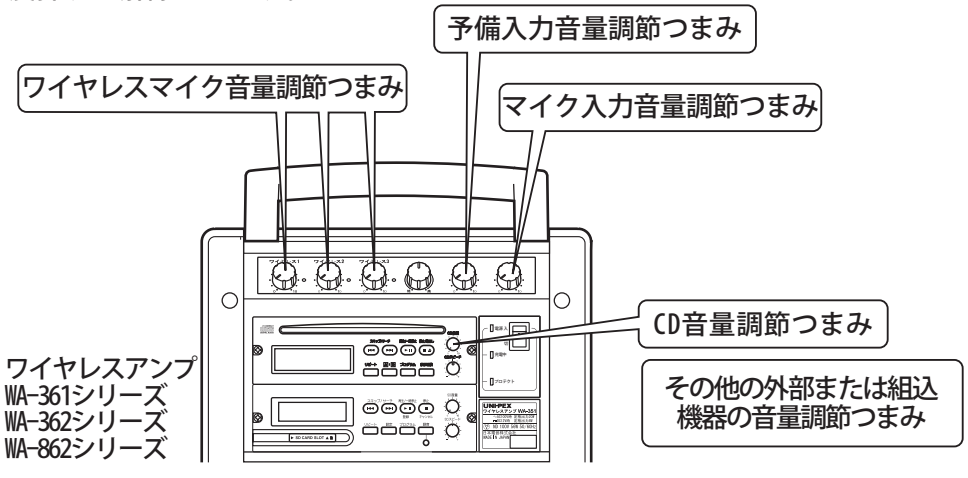
高感度モード｢Hi｣表示



録音待機状態､及び録音中に録音ボタンをもう一度押すと｢高感度モード｣に切り替わり､録音レベル表示左上部に｢Hi｣の表示がでます。小さい音を録音するときに｢Hi｣の表示に切り替えてください。録音ボタンを押すたびに｢通常｣と切り替わります。録音レベルが充分得られる場合は通常の｢Hi｣の表示が無い状態で録音してください。

4. 録音する機器の音量を調節する

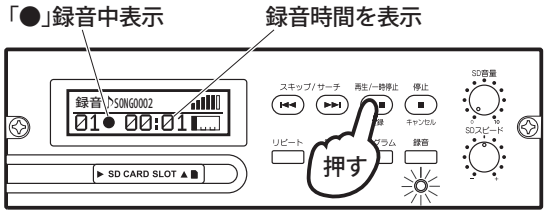
□録音する機器の音量を適切なレベルになるように録音レベルメーターを目安にして調節してください。レベルが小さい場合は録音ボタンを押し｢高感度モード｣に切り換えてください。また､もう一度押すと解除されます。



5. 再生/一時停止ボタンを押す(録音開始)

□録音するプレーヤーの再生をスタートさせ、同時に本機の再生/一時停止ボタンを押し録音を開始してください。

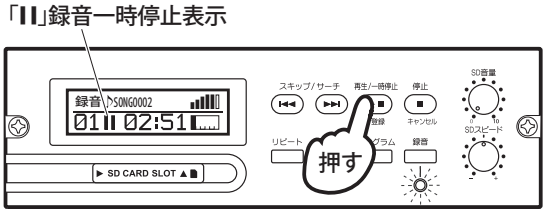
プレーヤーの再生をスタートさせる



録音表示灯が点灯

録音を一時停止するには

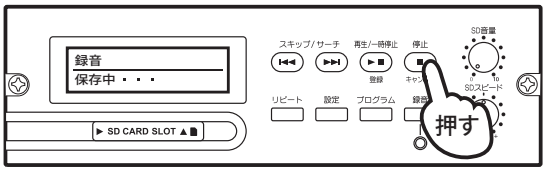
□録音中に再生/一時停止ボタンを押すと録音待機状態になります。再び再生/一時停止ボタンを押すと録音が開始し、同じトラックファイルに録音を続けることができます。



録音表示灯が点滅

6. 停止ボタンを押す(録音停止)

□停止ボタンを押すと**「録音/保存中」**表示後、録音が終了します。



プレーヤーの再生を停止させる

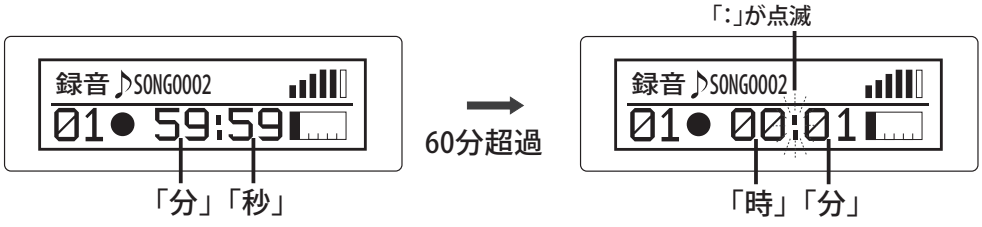
□録音一時停止状態でも停止ボタンを押すと録音中と同様に**「録音/保存中」**表示後、録音が終了します。

◇本機で録音されたSDカードを本機以外で使用されますと、著しい音量差などで使用に差し支える場合があります。使用に際しては音量の調節に充分ご注意ください。

録音時のご注意

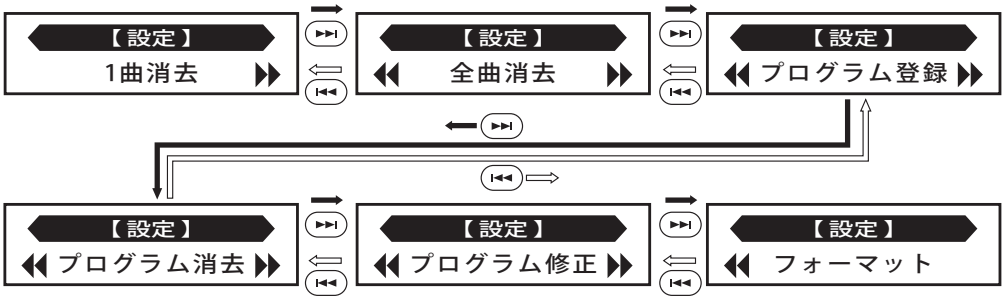
録音時間の表示について

■演奏時間表示部に録音時間が表示されます。ただし60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。



設定方法

□設定モードは設定ボタンを押した後、スキップ/サーチボタン(►►)を押すと設定モードが「フォーマット」まで順番に切り換わり止まります。戻すときはスキップ/サーチボタン(I◄◄)を押してください。(下図参照)



誤消去防止スイッチについて

□SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと設定操作は「ライトプロテクト」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。
(27頁誤消去防止スイッチについて参照)

「設定/ライトプロテクト」表示

設定
ライトプロテクト

□消去のしかた

ヒント：消去の操作を途中で取り止める場合は停止ボタンを押してください。(または「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押しても可)

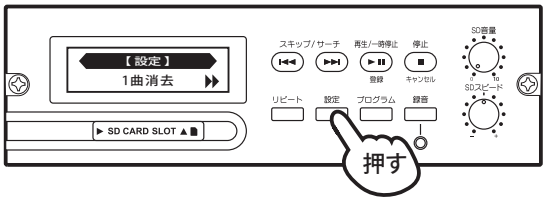
注)消去中、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

一曲消去

□録音された曲の中から曲を選んで一曲づつ消去する場合は次の要領でおこなってください。複数の曲を消去する場合は一曲消去を繰返してください。

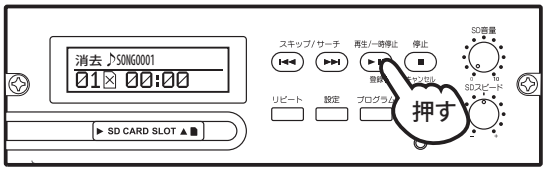
1. 設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



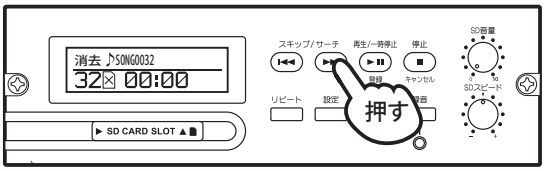
2. 再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「消去-曲選択」表示に換わります。



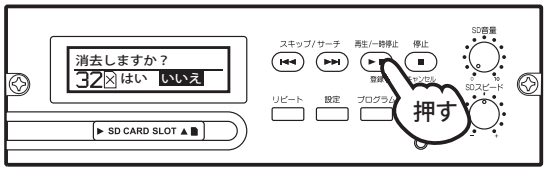
3. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押して消去するファイルを選択してください。



4. 再生/一時停止ボタンを押す

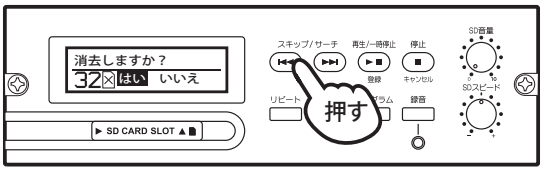
□再生/一時停止ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。



・「いいえ」表示中に再生/一時停止ボタンを押すと操作は中断します。

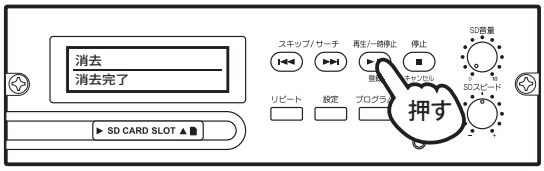
5. スキップ/サーチボタン(I◀◀)を押す

□スキップ/サーチボタン(I◀◀)を押すと「はい」に表示が換わります。



6. 再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「消去完了」に表示が換わり消去が完了します。



注) プログラム登録をされている曲の消去について

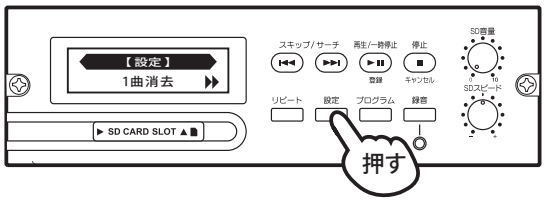
プログラム登録をされている曲と同じ曲をSDカード内から消去しますと、プログラム登録からもその曲は消去されてしまいます。
新しくプログラム登録をされる場合は「20頁プログラム登録のしかた」にておこなってください。

全曲消去

□録音された曲を全曲消去する場合は次の要領でおこなってください。

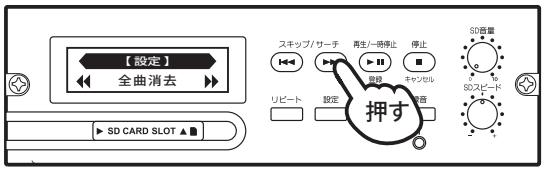
1. 設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



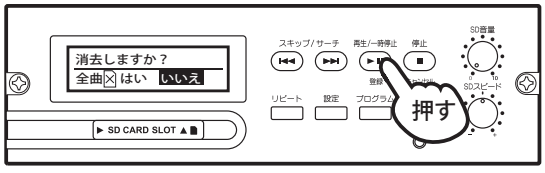
2. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(▶▶I)を1回押して「全曲消去」の表示に切り換えてください。



3. 再生/一時停止ボタンを押す

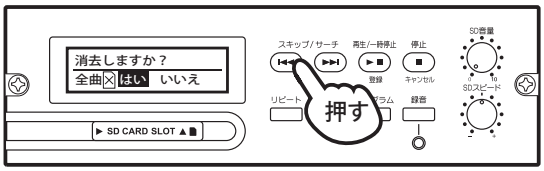
□再生/一時停止ボタンを押すと「全曲消去確認-いいえ」に表示が換わります。



・「全曲消去確認-いいえ」表示中に再生/一時停止ボタンを押すと操作は中断します。

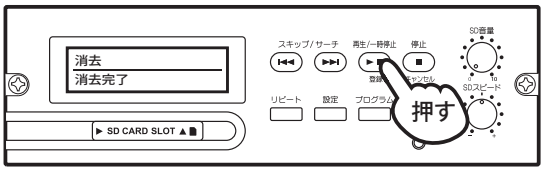
4. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「全曲消去確認-はい」に表示が換わります。



5. 再生/一時停止ボタンを押す

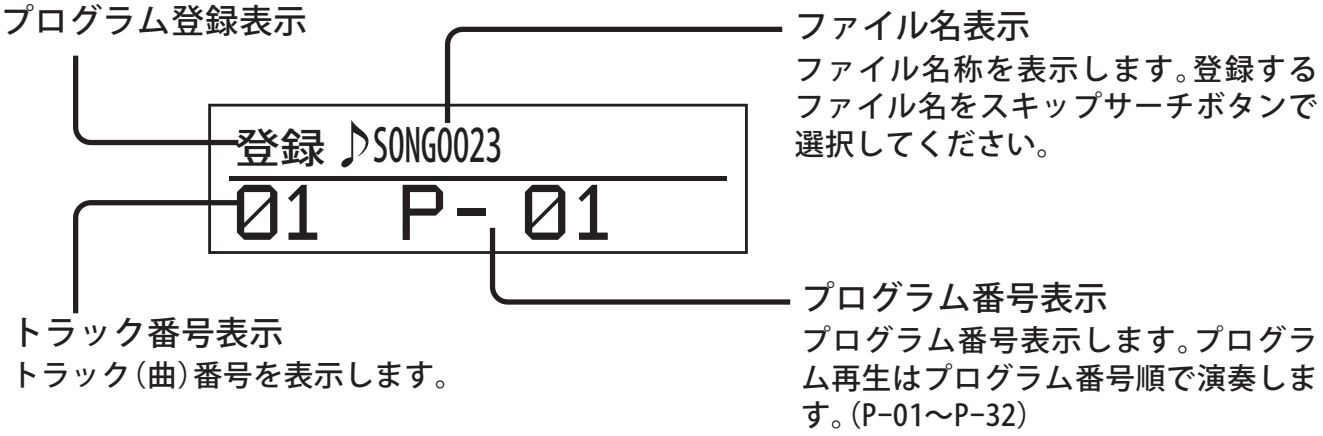
□再生/一時停止ボタンを押すと「消去完了」に表示が換わり消去が完了します。



設定方法

□プログラムの編集

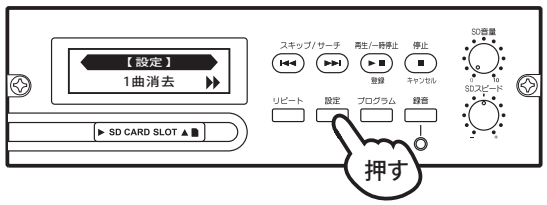
□SDカードに録音された曲を最大32曲までお好みの順番で登録し、再生することができます。プログラムの登録、消去、修正をする場合は次の要領でおこなってください。



プログラム登録のしかた

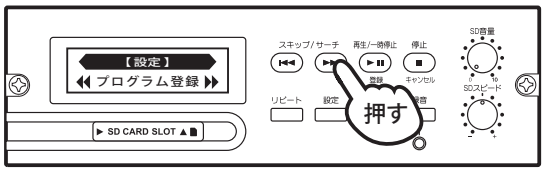
1. 設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



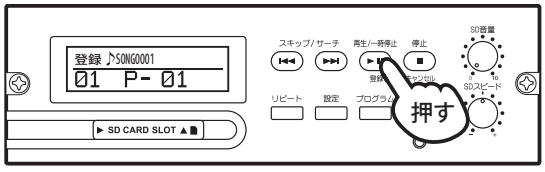
2. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(▶▶I)を2回押して「プログラム登録」の表示に切り換えてください。



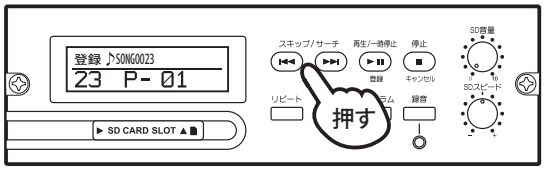
3. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「登録するプログラム番号」の表示に換わります。



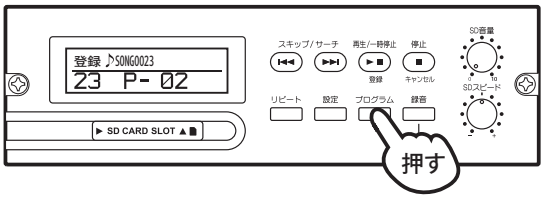
4. スキップ/サーチボタンを押す(登録曲の選択)

□スキップ/サーチボタンを押して登録するファイル名を選択してください。



5. プログラムボタンを押す

□プログラムボタンを押すとプログラム番号にそのファイルが仮登録されます。プログラム番号は点滅した後、次の番号に替わります。



□続いて仮登録をおこなうには、「4」「5」の操作を繰返してください。プログラムの最大数は32曲です。最大数をこえた登録を行おうとするとプログラム番号に「ＯＶＥＲ」の表示がされます。

□全ての仮登録が完了しましたら次頁「6」の操作へ進んで登録を決定してください。

□このモードで既に登録したプログラムの修正をおこなうことはできません。修正する場合は「22頁プログラムの修正のしかた」にておこなってください。

ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

6. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□全ての仮登録が完了後、再生/一時停止(登録)ボタンを押して登録を決定してください。

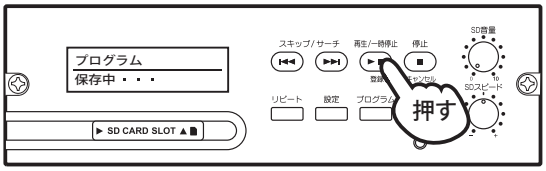
以前にプログラム登録をしていない場合(新規)

- 再生/一時停止(登録)ボタンを押してください。これで登録が決定します。
- また、決定前に停止(キャンセル)ボタンを押しますと中断が可能です。

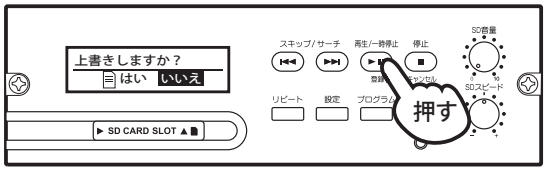
以前にプログラム登録をしている場合(上書き)

- 再生/一時停止(登録)ボタンを押してください。上書き確認が表示されます。
- 上書きしてよい場合はスキップサーチボタンで「はい」を選択し、再生/一時停止(登録)ボタンを押し決定してください。
- 上書きしないで中断する場合は「いいえ」を選択し、再生/一時停止(登録)ボタンを押してください。
- また、決定前に停止(キャンセル)ボタンを押すことでも中断が可能です。

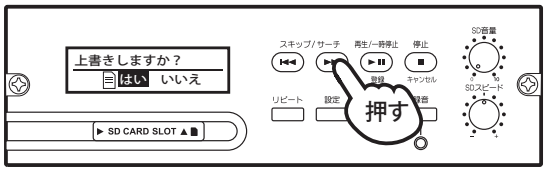
再生/一時停止(登録)ボタンを押す(完了)



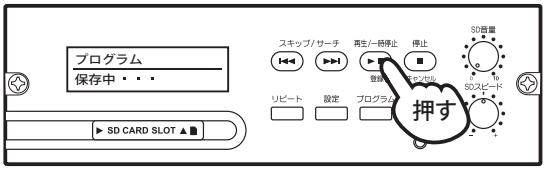
① 再生/一時停止(登録)ボタンを押す



② スキップ/サーチボタンを押す



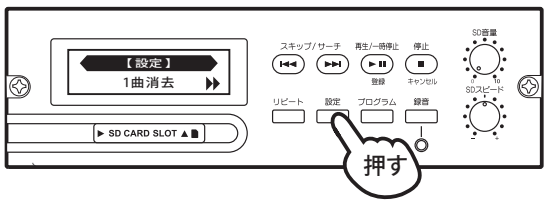
③ 再生/一時停止(登録)ボタンを押す(完了)



プログラムの消去のしかた

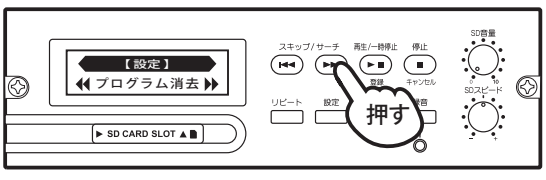
1. 設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



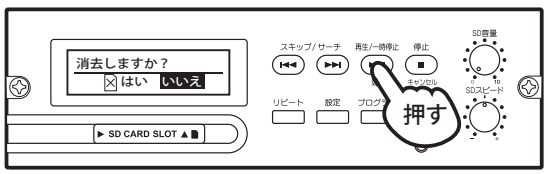
2. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►)を3回押して「プログラム消去」の表示に切り換えてください。



3. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと、プログラム消去の確認が表示されます。

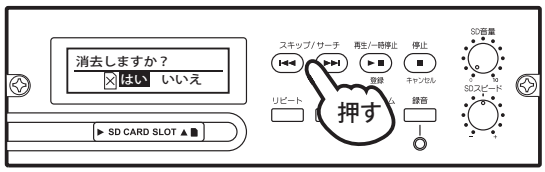


- 消去しない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、消去完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

設定方法

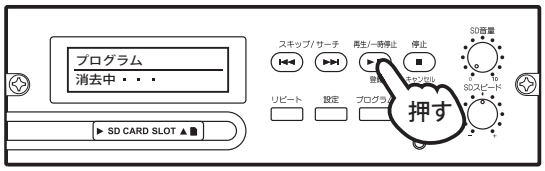
4. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップサーチボタンを押して「はい」を選択してください。



5. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

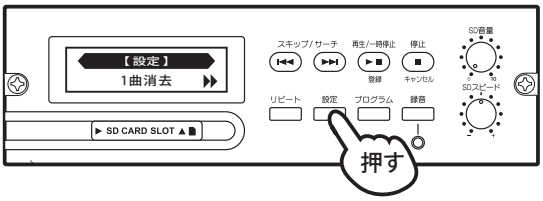
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「消去中」に表示が換わり消去が完了します。



プログラムの修正のしかた

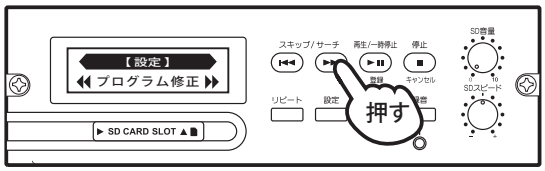
1. 設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



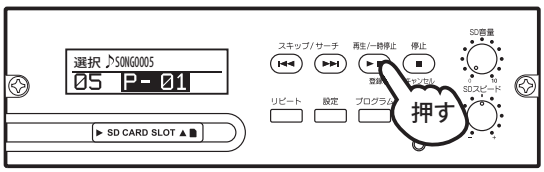
2. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(▶▶|)を4回押して「プログラム修正」の表示に切り換えてください。



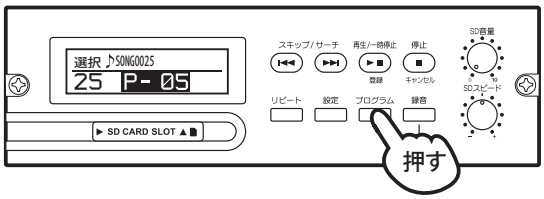
3. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「修正するプログラム番号」の表示に換わります。



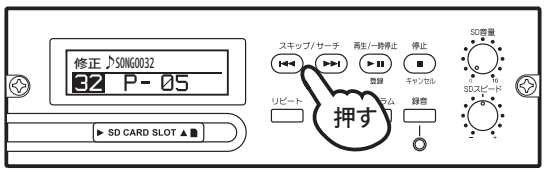
4. プログラムボタンを押す

□プログラムボタンを押して修正したいプログラム番号を選択してください。
□プログラムボタンを押すたびにプログラム番号が変わり、登録されているプログラムの内容が表示されます。



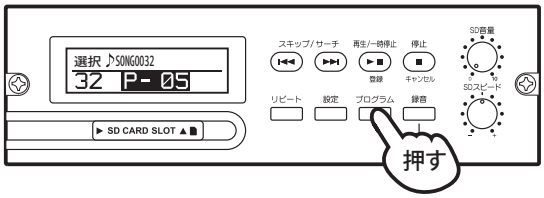
5. スキップ/サーチボタンを押す(修正曲の選択)

□スキップ/サーチボタンを押して新規に修正登録するファイル名を選択してください。



6. プログラムボタンを押す

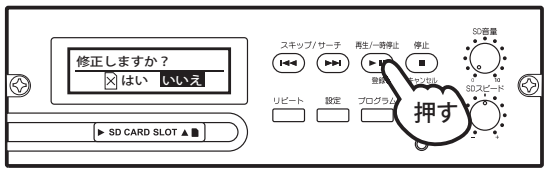
□プログラムボタンを押して表示中の修正登録するファイル名を仮登録してください。



□続いて仮登録をおこなうには「4」～「6」の操作を繰返してください。
・登録されているプログラム番号の曲目は変更できますが、指定したプログラム番号の消去や、新たなプログラム番号の追加はできません。再度登録しなおしてください。

7. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

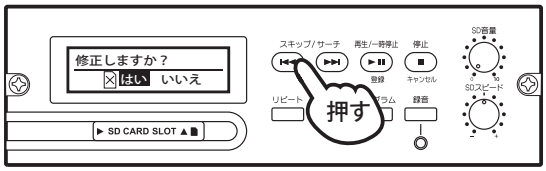
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。



・修正しない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、修正完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

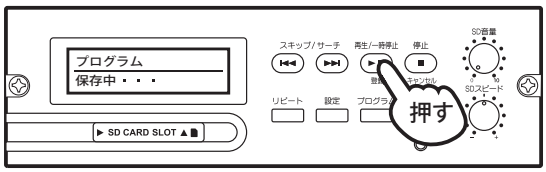
8. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「修正確認-はい」に表示が換わります。



9. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「保存中」に表示が換わり修正が完了します。



ご注意

□プログラムはSDカード内に保存されます。パソコンなどでSDカードの内容を見ますと「SDU200.txt」と言うファイル名で表示されます。そのファイルを削除しますとプログラムが消去されてしまいますのでご注意ください。
□複数のプログラムを登録される場合はプログラム登録毎にSDカードをそれぞれご用意ください。

設定方法

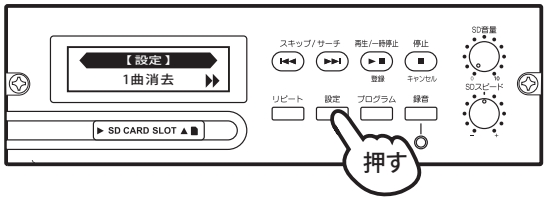
ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

□フォーマット(初期化)のしかた

注)フォーマット、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

1. 設定ボタンを押す

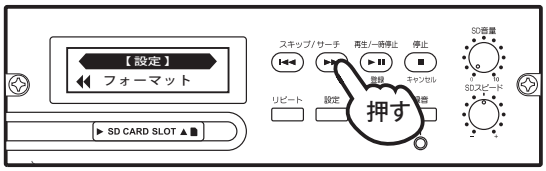
□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



◇SDカードにデータが入っていないときに設定ボタンを押すと設定メニューの「フォーマット」表示に変わります。それ以降は「3」→「4」→「5」の操作でフォーマットをおこなってください。

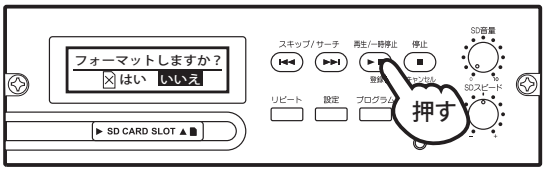
2. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►I)を5回押して「フォーマット」の表示に切り換えてください。



3. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

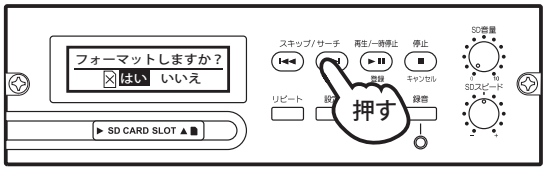
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。



・フォーマットをしない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、フォーマット完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

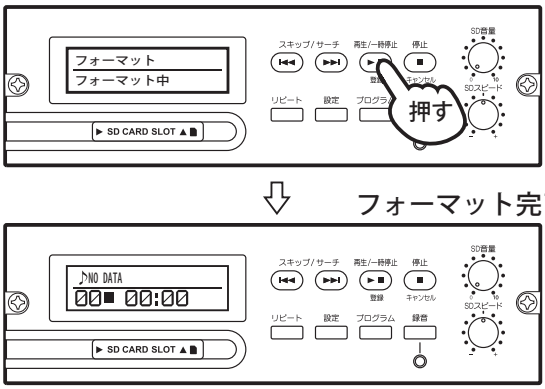
4. スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「はい」に表示が換わります。



5. 再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「フォーマット中」から「NO DATA」に表示が換わり、フォーマットが完了します。



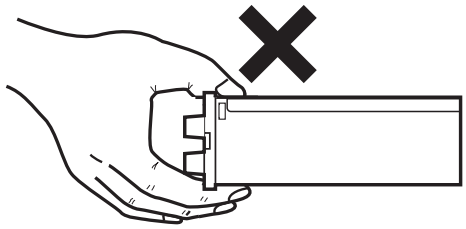
組込方法

□組込時のご注意

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

本機を持つときは、前面パネル部に触れない。
前面パネル部がはずれ、故障の原因になることがあります。

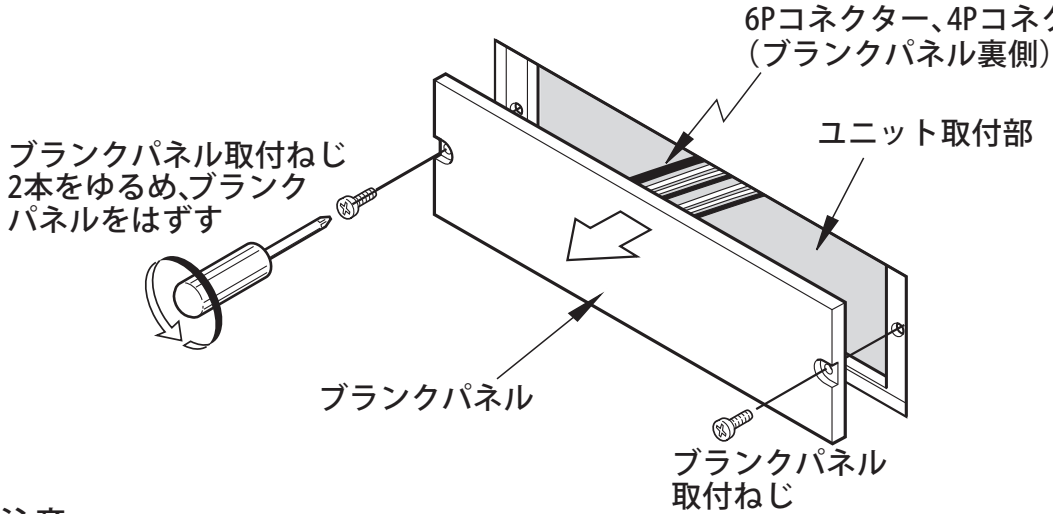


□組み込みのしかた

1. ブランクパネルをはずす

組込機器のユニット取付部のブランクパネルをはずし、ブランクパネルの裏側に差し込まれている6Pコネクターと4Pコネクターをはずしてください。(図1参照)

図 1



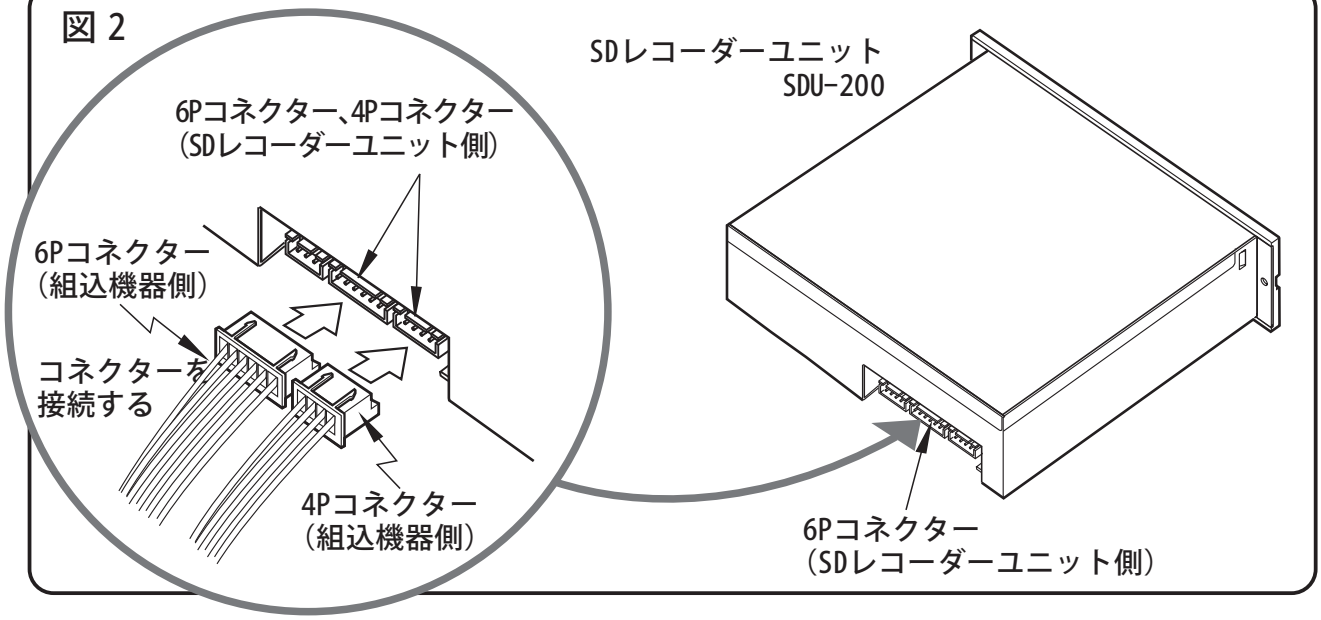
ご注意・・・・・

ブランクパネルから各コネクターをはずす際には、必ずパネル側のロックのツメをはずしてから取りはずしてください。

2. コネクターを接続する

はずした2個のコネクターを本機後面の各コネクターにしっかりと接続してください。(図2参照)

図 2

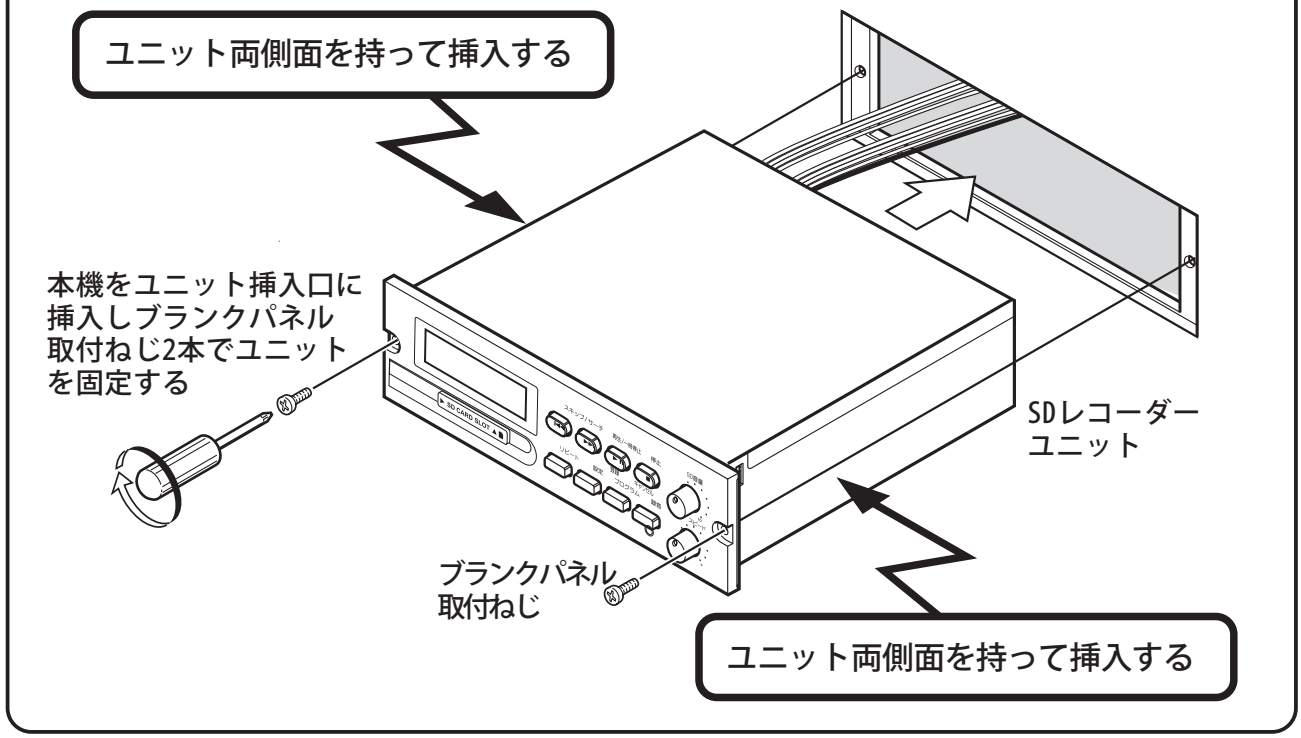


3. 本機を組み込む

本機を組込機器のユニット取付部に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図3参照)

図 3

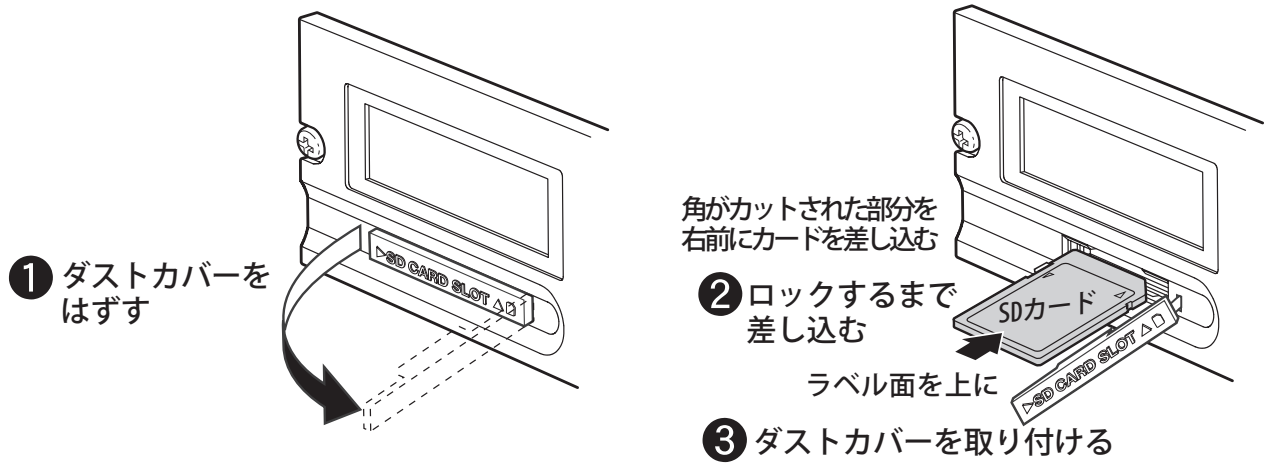
ご注意・・・・・ 本機挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。



SDカードの挿入方法

入れかた

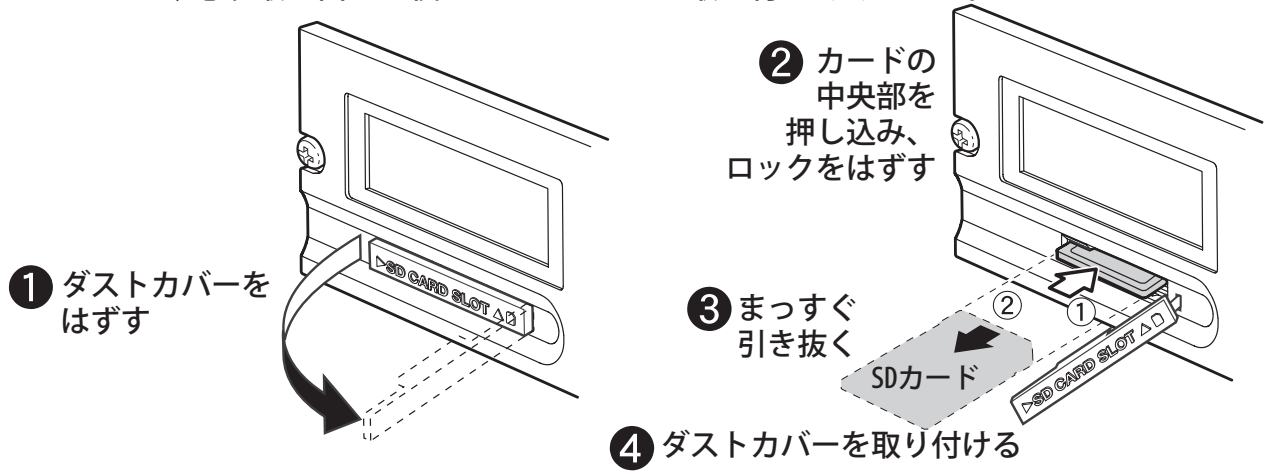
◇すでにSDカードが入っているときは､カードは入れられませんので､無理に入れないでください｡必ず挿入口にカードが入っていないことを確認してからカードを挿入してください｡必ず挿入後はダストカバーを取り付けてください。



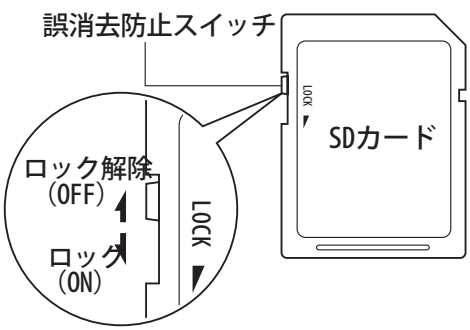
取り出しかた

■ご注意　動作中､操作の途中及び待機(一時停止)時などにSDカードを取り出したり､電源を切らないでください｡本機が正常に動作しないことや､カードの内容が破壊されたりすることがあります。
SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

◇必ず取り出した後はダストカバーを取り付けてください。



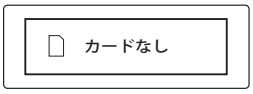
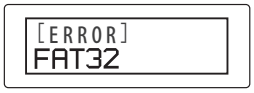
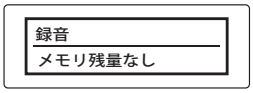
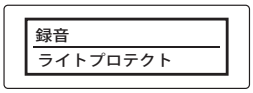
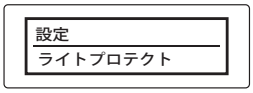
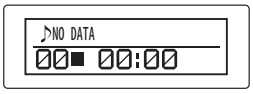
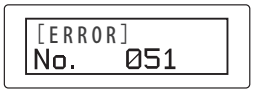
誤消去防止スイッチについて



◇SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと､録音､消去などカードの内容を変更することができません｡再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため､このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

◇録音､消去､プログラム操作をするときは誤消去防止スイッチのロックを解除してください｡ロック側になっていますと操作を開始しても｢ライトプロテクト｣表示後､元の表示に戻り操作はキャンセルされます。

エラーメッセージの説明

	「カードなし」 内容…SDカードの未挿入 SDカードが挿入されていません。カードを挿入してください。
	「ERROR/FAT32」 内容…SDカードのフォーマット形式がFAT32 SDカードのフォーマット形式が合っていません。このエラー表示中にどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。カードのデータが消滅しても問題のない場合はそのままフォーマットの操作を続けてください。
	「録音/メモリ残量なし」 内容…SDカードのメモリー残量僅少 SDカードのメモリー残量が僅少、またはデータ数が規定数※6を超過しているため録音ができない状態です。不要なデータを消去するか、他のカードと交換して録音してください。(※6 最大512　カード容量、データの総容量などにより512より少なくなる事があります。)
	「録音/ライトプロテクト」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため録音できません。ロック状態を解除してから録音してください。
	「設定/ライトプロテクト」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため消去できません。ロック状態を解除してから消去してください。
	「NO DATA」 内容…SDカードにMP3データなし SDカードにデータが入っていません。録音、またはデータの転送をするか、他のカードと交換してください。
	「ERROR/No. 50」 内容…SDカードの異常 「ERROR/No. 51」 内容…SDカードの異常 これらのエラーNo. が表示している場合はどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。このときは取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラーを解除してください。それでもエラー表示が解除しない場合はカードのデータが消滅しても問題のない事を確認し、いずれかの操作ボタンを押してそのままフォーマットの操作を続けてください。
	
	「ERROR/No. □□□」 内容…本機のシステムエラー 「No. 50」、「No. 51」以外のエラーNo. が表示している場合は、取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラー表示を解除してください。もしエラー表示が消えない場合は販売店や工事店などにご連絡ください。そのときは必ずエラーNo. をお伝えください。

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症　　状	点検項目「表示部」	対　　策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	SDカードが入っていますか。「カードなし」	SDカードを挿入してください。
	SDカードに転送したデータのファイル形式が正しいですか。「NO DATA」	MP3形式データ及び本機で録音した音声データを使用してください。
	SDカードのフォーマット形式は正しいですか。「ERROR/FAT32」	本機でフォーマットしたカードを使用してください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない	音量が最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカードが入らない	本機の中にSDカードが入っていませんか。	SDカードを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
録音ができない	SDカードのメモリー残量が不足していませんか。「録音/メモリ残量なし」	不要なデータを消去してください。
		他のSDカードに交換してください。
	SDカードのファイル数が512を超過していませんか。「録音/メモリ残量なし」	不要なデータを消去してください。
		他のSDカードに交換してください。
録音、消去、フォーマットができない	SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていませんか。「録音/ライトプロテクト」「設定/ライトプロテクト」	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。

著作権法について

■あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

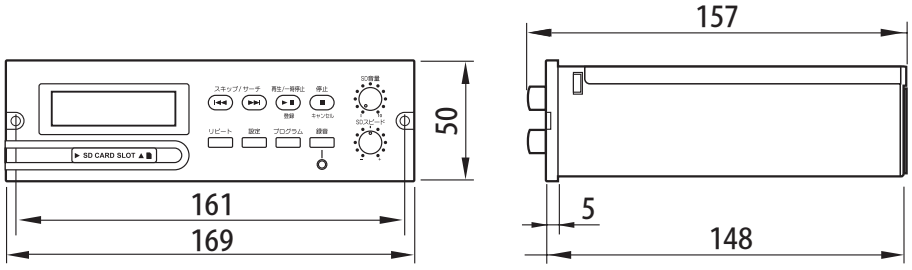
●放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

定格

電源電圧	DC12V 組込機器本体より受電
消費電流	200mA以下(12V)
表示	動作表示:液晶表示 バックライト:発光ダイオード　緑 録音表示:発光ダイオード　赤
適合SDカード	SDA準拠SDカード(16MB～2GB)　　SDHCは除く
ファイルシステム	FAT12、FAT16
ファイル保存最大数	512(SDカードの容量、および、ファイルに依存) 保存は、ルートディレクトリのみ対応。
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)
再生ビットレート	32kbps～320kbps
録音ビットレート	128kbps (サンプリング周波数44.1kHz)
周波数特性	20Hz～20kHz
再生スピードコントロール	－15%～＋15%可変
S／N比	70dB以上
ダイナミックレンジ	65dB以上
リニアリティ	±1.0dB,0dB(0dB～－40dB)
高調波歪み率	0.2%以下
選曲	前後一曲
入力感度	録音入力：－2dBV　±3dB 10kΩ
定格出力	音声出力：－10dBV ±3dB 10kΩ
付帯機能	シングルリピート、オールリピート、リレー再生、プログラム再生、ランダム再生、経過時間表示、スピードコントロール、一時停止、音量調節、消去機能、フォーマット機能
使用温度範囲	0℃～＋40℃
外装	パネル　(ABS樹脂)黒色半艶塗装
寸法	幅 169mm　高さ 50mm　奥行 157mm
質量	約 570 g
付属品	取扱説明書(保証書付) 1

外観寸法図 (単位:mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社